OCTOBER 9, 1920. NO. 7511 The Japanese American News 第七千五百十一號 (土) 大正九年十月九日

日米

THE JAPANESE AMERICAN
PUBLISHED DAILY AT
650 ELLIS STREET,
SAN FRANCISCO, CALIFORNIA.
PHONE PROSPECT 238
ENTERED AT S. F. POST OFFICE
AS SECOND CLASS MATTER.
K. ABIKO, EDITOR & PROP.
SUBSCRIPTION RATES
IN ADVANCE
DAILY......ONE YEAR...... $11.00
DAILY......SIX MONTHS...... 6.00
DAILY......ONE MONTH...... 1.00
SINGLE COPIES.......... 5 CENTS
BRANCHES
DENVER, FRESNO, LOS ANGELES, NEW YORK, OAKLAND, OGDEN, PORTLAND, SACRAMENTO, STOCKTON, SAN JOSE, SALT LAKE, SEATTLE, VACAVILLE, WATSONVILLE.

日米 解決に非ず 加藤子の案

憲政會總裁加藤高明子が同會東北大會に於て述べたる加州問題に關する演說梗概は、本社東京特電及び聯合通信社により報ぜられたるが、在野黨首領の意見として內外の注意を喚起したるに似たり。傳へられたる梗概によれば『日本政府の對米交渉方針は、在米同胞の他の在米外國人と同等の待遇を與ふる事を規定せる新日米條約の締結に在りとの風說なるが、斯くの如きは主義として好しけれど、現在の情勢に於て實現不可能なり』といひ『解決の最良策は日本の輿論を統一し之を高調し、正義と人道との名に於て出來得る限り熱烈に米國民に訴ふるに在り』とあり。差別的待遇の撤廢を新協約によりて期せんとすることの決して容易ならざるは、加藤子の意見の如し。左れど正義と人道との名によりて排日の不當なることを、米國民に訴へたりとて、問題が解決さるべしと考ふるならば、そは一層覺束なき見込ならざる可からず。日本の輿論が一致して排日の不當なるを米國民に訴へ、其道德的共鳴乃至同情を得たりとて、夫だけにては加州問題は何等解決さるべきにも非ず。何等かの具體的解決案を提出し、米國政府の同意を求むべく努力し、其努力をして効果あらしむべく、米國民の道德的共鳴を利用する外に、其『訴へ』は何等の用を爲さゞる可きこと明白なり。加州の一般投票は、日本の輿論の如何に勃興すとも、如何に訴へらるゝとも夫れ等一切を眼中に置くこと無くして進行すべく、中央政府と雖も之を如何とも爲す可からざるなり。中央政府としては加州が排日案を制定するには無論不同意ならんも、日本の抗議あり、具體的解決案の提出せらるゝに非ざる限り、た氣の毒樣と考ふる以上の事を爲すべしと考へられず。左らば空漠なる道德的の解決策なるもの全然無用の業に過ぎざるを了解せざる能はざらん。一九一三年の現行土地法問題の時、時の山本內閣は牧野外相をして時の駐米珍田大使を通じて、抗議三回に及びたるも結局要領を得ずして、問題を次の大隈內閣に引渡したるが、大隈內閣の外相加藤高明子は、不得要領の儘に交渉を打切り、一切を放棄したることは尙ほ吾人の記憶に鮮やかなり。然かも吾人の最も遺憾に感じたる處は、一九一三年の加州土地法は奈何ともすべからざるも、夫れ以上既得權を侵害せざる可きを目的とし、或種の協約を締結すべく、珍田大使とブライアン國務卿との間に交渉中なりしをも併せて打切り放棄したる事なり。加藤子は當時一切の差別的待遇を總括的に一掃する考へにて之を打切りたるならんも、然かも是の如きは實現不可能なりし爲め、結局泣き寢入りとなりて今日に及べるものなり。若し當時右の珍田ブライアン協約にして成立し居らば、今回の加州排日法案の如きは當然此協約違反として立案せらるべき餘地無きものなり。左らば或る意味に於て現下の加州問題は加藤子の失敗によりて起りたるものと言ひ得べく、斷じて其責任を回避し得べきに非ず。然かも子が今回の解決法なるものも、嚮きに總括的に解決せんとして失敗したる處と殆んど同一なる精神の下に考へ出されたるものと言ひ得べし。吾人は加藤子の爲めに深く惜まざるを得ず。

從來の行懸有り

加州勞働協會がゴンパース氏の意志に反して排日一般投票贊成の決議を爲したるは敢て怪しむに足らず。今日に於てこの勞働團體は排日運動に熱心ならざれ一九一三年までは實に彼等が中堅なりしものなれば、假令今日利害の交渉無くとも切ても切れぬ行懸りあれば、御多分には漏れ得ざればなり。

●新日米移民協定に反對す

憲政會總裁加藤高明子は仙臺に開かれたる憲政會東北大會に於て「風說に依れば日米兩國は紳士協約を修正し又は新條約を結びて移民の渡米を更に嚴重に取締らんとのことなるが政友會政府が單に米國の一部なる加州の御機嫌を買はんが爲めに斯の如き條約を締結せば恐も甚だしと云ふべし何となれば斯の如き條約は日本に不利を齎らすのみならず日本帝國の威信を傷くべきを以てなり」と演說し新日米條約締結說に反對せり(仙臺發)

●日本在留米人不安を感ず

日米問題に原因する日本の排米感情は昂進しつゝあるを以て日本在留米人は神經質となれりされど政府當局者は現在の排米氣分は間もなく緩和さるべく從つて來る十一月排日立法成立するも危險なる排米示威運動行はれざらんと觀測しつゝあるものゝ如し(東京發)

極東關係電報 (十月八日聯合通信)

●排日緩和運動旺盛

△東京の日米協會米人會員活動

東京の日米協會の米人會員は紐育の日本協會に次の如き意味の電報を發すとの決議をなせり『加州の排日立法は日米兩國の傳統的親善關係を破壞し日米兩國の不和を招く加州の排日運動は日本全國に於て緊張せる排米氣分を惹起せり紐育の日本協會が右の日本の情勢を米國民に告げ排日問題解決の爲めに努力されんことを希望す』

▲日米人協同排日緩和奔走

東京の日米協會長金子堅太郎子は同協會の日本人會員を代表して次の如き意味の電報を紐育の日本協會長ヴァンダーリップ氏に送れり『日本政府及び國民は加州排日運動の進行を嚴重に注意しつゝあり若し加州の排日運動が極端に進行するならば如何なる事變起るや容易に豫測し得られず日米協會の日本人會員は緊張せる日米關係を改善すべく日本に於てあらゆる道義的活動を試みつゝあり吾人は紐育の日本協會が東京の日米協會と協同一致して日米問題の正當なる解決の爲めに努力せられんことを重ねて要望す』(東京發)

●日米委員任命反對

△憲政會加藤子の日米問題論

「東京事時新報」の報に依れば憲政會總裁なる前外相加藤高明子は先日提唱せられたる日米兩國が日米問題解決委員を擧げ日米問題の解決を之れに委任せんとするの案は加州の排日運動者が列擧せる日米問題の要點を一掃するに殆んど効力なし故に吾人は委員設置案に反對する旨聲明せり

▲米人の正義心に訴ふべし

加藤子は更に次の如き聲明を試みたり『米國在留日本人に他の在留外人と同等の待遇を與ふと規定せる新日米條約を締結せんとの風說あるが斯の如き條約の締結は主義として好ましけれども現在の情勢に於て實現不可能なり余は米國大統領選擧の結果の如何に關せず現在の排日問題は容易に解決せられず困難なる問題として殘るならんと信ぜらる排日問題解決の最良策は日本の輿論を統一し之れを高唱し正義と人道の名に於て出來得る限り熱烈に米國民に訴ふるにあり』(東京發)

歐洲新情勢電錄 (十月八日聯合通信)

●露過激派再戰準備

波蘭戰線を視察せる米國將校の談に依れば露國過激派は波蘭侵略を斷念せざるべく今秋又は來春波蘭侵略を開始すべき模樣なり他の露國視察者の談に依れば露國過激派に關する報知は容易に信用されず露國の實狀を見るに過激派の基礎は案外鞏固なりと(伯林發)

●英國過激派艦擬擊沈威嚇

英國政府は英露通商談の爲め倫敦に滯在中の露國過激派特使クラシン氏を通じて若し過激派の軍艦が黑海のニコライエフ附近に出沒せば英國黑海派遣艦隊は無警告にて直ちに擊沈せんとの通牒を露國過激派政府に送れりクラシン氏は右の警告の理由を知らずと語れり(倫敦發)

●英國在露英人引渡し要求

英國政府は若し露國過激派政府が露國に抑留され居る英軍及び非戰鬪員の俘虜を十月十日迄に釋放せざれば露國に對して非常手段を取らんと警告せり(倫敦發)

ワシントン電報 (十月八日聯合通信)

●通信豫備會議開催

國際通信會議の豫備會議は八日より華府國務省に於て開かれたり豫備會議參加國は佛英伊日米國の五强國なり豫備會議は本會議のプログラム、場所、期日等を協定すべく會期は約一ケ月なり

▲日本占領前獨海電の處置

國際通信會議に於ける米國の最大問題は南太平洋前獨領島を中心とする海底電線の開放なり本問題は日、英、米三國間の問題なり尙新聞電報取扱改善策も通信本會議に於て審議せられん

●米墨戰爭勃發の虞れあり

駐墨米國大使に任命せられたるも議會上院が未だ之れを應諾せざるを以て赴任せざるモルグンソー氏は若し米國が國際聯盟に參加せざれば米墨戰爭起るやも知るべからずとボストンに於て演說したりと

大統領選擧と排日

ハーデングとコックスの意見と東部及び西部の新聞の批評

昨日桑港着のリタラリー・ダイゼストはハーデングとコックスとの加州の排日問題に對する先日の聲明を掲げ尙太平洋沿岸諸州中西部及び東部の主なる新聞の「大統領選擧戰と排日問題」に關する社說の要領を蒐集摘載せり左に之れを譯載す、但し桑港エキザミナーと桑港ブレッチンの說を略す。

タコマのニューストリビューンは先日の櫻面都に於ける加州共和黨大會が排日贊成決議をなせるに就き『吾人は之れに依つて太平洋沿岸の市民の眞の對日本人感情を知り得べし』と云ひポートランドのオレゴンジアナルはコックスの先日の

▲桑港演說中

の排日に關する聲明に就てコックスは『太平洋沿岸民の排日運動に干渉せずと聲明せり、東西兩洋文明の融和の不可能なることは太平洋沿岸民に依つて痛切に感ぜられたるが追々全國民も之れを知るに至らん、コックスは決斷と

▲實行の人なり、

故に若し大統領に當選せば排日問題を迅速に解決せん』と論じ市俄古ニユースは『移民問題は內國問題なり、外人借地禁止法は關係外人の感情を害せずして實施し得らるべし、但し戰爭煽動屋は外人の既得權を侵害することは合衆國憲法に依つて

▲禁止せらる

ゝことを記憶せざるべからず』と述べアンサス・セテー・スターは『加州は安價なる勞働者を輸入せば利益を受くべきを知るが安價勞働者の輸入は將來の禍根なることをも知る、日本は加州以外の地に超過人口の吐口を發見せざるべからず』と云ひ紐育ウォールドは『若し

▲太平洋沿岸

民が正當なる手段を以て日本人を排斥せんとするものならば全國民は之れを應援せん、されど若し太平洋沿岸民が全國に對する責任を負はずして無責任なる行動を取るならば日本人問題の眞の解決は望むべからず、從來の太平洋沿岸民の排日的行動を見るに彼等は

▲中央政府を

無視して單獨的行動に出でたる場合多し吾人は太平洋沿岸の常習的愚民煽動を看過する能はず』と論じ紐育イーヴニング・ポストはコルビー國務卿と幣原大使との間に移民禁止に關する新協定談進行しつゝありとの風說に就て

▲日本の抗議

中には合法的に入國せる日本人に差別的法律を適用するは不可なりとの事項あり、既に入國せる日本人は他の入國外人が享有しつゝある權利と特權とを享有すべき筈なり、加州は日本人に對する差別的態度を捨てゝ他の外人に對する待遇と同一の待遇を

▲日本人に與

へざるべからず、加州は將來の人種問題を豫防せんが爲めに問題重大となる前に禍根を芟除せんと稱しつゝあるが將來の人種問題を豫防する最善の手段は現在の日本人を無穢漢視せざることなり、加州知事は來るべき排日立法は日米

▲問題を解決

するに不充分なりと自白せり、然らば加州は何故に不充分なる排日法を立てんとするや、加州は日米問題の解決を何故日米兩國政府に一任せざるや、日米問題を解決し得るは日米兩國政府のみなり』と論じて加州民の輕擧妄動を戒めたり。

米國政戰電報 (十月八日聯合通信)

●ウ氏出兵約束證據

ミゾリー州選出上院共和黨議員スペンサー氏が大統領選擧戰の國際聯盟論議に於て大統領ウィルソン氏は巴里講和會議にて若し羅馬尼と塞耳比亞が勃牙利の攻擊を蒙ることあらば米國は陸海軍を以て右兩國を援助せんと約束せりと稱し大統領を非難せるに對し大統領が之れを否定せるは既報の如くなるが紐育トリビューン紙は大統領の出兵約束を證すべき文書を掲載せり

▲講和會議議事錄を發表す

紐育トリビューン紙が報道せる處に依れば巴里講和會議の一九一九年五月卅一日の議事錄の第廿三頁にスペンサー氏の聲明を證據立つる記錄あり(紐育發)

▲當局議事錄問題に就き沈默

國務省當局者は紐育トリビューン紙掲載の講和會議議事錄に就き否定もせず肯定もせずして講和會議の秘密會議の議事錄は大體に於て存せざる筈なりと語れり(華府發)

●コックス選擧運動費問題

議會上院の大統領選擧運動費調査特別委員會のポメリーン、エッチの兩委員はオハヨー州デートンにてコックス氏の選擧運動費調査を開始せり參考證人の陳述に依ればコックス氏が一九一六年知事選擧の際デートンのメタルプロダクツ會社より理由の知れざる五千弗を受取りたるは事實なる者の如し(デートン)

●ハーデング聯盟對反再說

中西部遊說中のハーデング氏はアイオワ州デモインの次にネブラスカ州オマハに於て重ねて國際聯盟演說をなし余は保留案を附するも否とに關せず國際聯盟に絕對的に反對すと語り次にラインの河畔駐屯米軍の撤廢と巴奈馬運河通航料廢止と政治犯大赦とを主張し最後に英國の聯盟利用を非難せり(オマハ發)

●大統領秘書ハ氏を非難す

大統領秘書タマルチー氏はハーデング氏のオマハ演說を批評して曰く『ハ氏はオマハ演說にて聯盟に對する態度を明かにせり彼は聯盟反對穩和派より極端反對派に變化せり』と述べウイルソン氏は近日國際聯盟に關して更に新しき聲明書を公表せんと語れり(華府發)

●國務卿演說

△コックス應援

コックス氏應援中西部遊說を開始せる國務卿コルビー氏は七日夜クリーヴランドにて第一回演說をなせり同氏は政戰に於て感情に走るべからざ自黨の利害を國家の利害の上に置くべからざと云ひ民主黨政府は若し國民の多數が希望するならば外交方針を若干變更するも苦しからざ若し國民が米國の對中南米政府政策の改善を希望せば之れに應ぜんと述べ最後に墨西哥の革命鎭定し秩序着々回復しあるは喜ぶべしと語れり(クリーヴランド)

●コ氏運動費提供

民主黨大統領候補コックス氏は結局自己の運動費となるべき民主黨大統領運動費として五千弗を紐育の民主黨本部へ送れり(紐育發)

●ジョンソン演說

市俄古の共和黨運動本部の報告に依れば加州選出上院議員ジョンソン氏は來る火曜日より中西部遊說を開始すべく共和黨副大統領候補クーリッヂ氏とイリノイ州知事ルウイス氏とケンタッキー州知事マーロー氏とは來る十八日より南部地方の遊說を開始する筈(市俄古發)

●米國過激派檢擧

市俄古の司法省官憲は八日米國の社會共產黨員中最も猛烈なるニコライ・ヤヂンスキーとジョン・ホロエニーとを檢擧せり官憲はヤヂンスキーの家宅にて暴力を以て米國政府を顚覆せよと記しある過激主義宣傳冊子を多數押收せり(市俄古發)

●英米資本家會合

米國商業會議所代表者と訪米中の英國商業會議所代表者とは華府に於て會合し勞資問題解決策を審議せり席上英國代表者は英國政府は勞働問題に餘りに深く干涉すと語れり(華府發)

●愛蘭市長の衰弱

八日にて絕食五十七日目となれる倫敦ブリクストン監獄に於けるマクスウィネー氏は心臟弱くなり言語を發し得ざる狀態に陷れり(倫敦發)

●ダブリンの罷業

愛蘭ダブリン埠頭人夫のストライキの範圍は增大されたりダブリン港內の船舶は立往生しつゝあり(ダブリン發)

●コーク港の暴行

愛蘭コーク港の革命黨員は市內警戒中の英軍部隊を襲擊し英兵一名を殺害し三名に傷を負はせたり(倫敦發)

●北伊太利の强震

北伊太利メンチュア地方に强震あり人畜の損害少からず(倫敦)

●伊太利列車衝突

伊太利ヴェニストとミラノとの間の急行列車は貨物列車と衝突し即死二十名負傷卅名を出せり(羅馬發)

●露國材料品競賣

舊露國政府の注文品にして數ケ年間晚香坡附近の海岸に積置かれたる鐵道材料品三萬噸は引取者なきを以て競賣に附せらるべし(晚香坡發)

THE SUMITOMO BANK, LTD.
(COMMERCIAL)
315-319 California St., San Francisco, Calif.
株式會社 住友銀行 社長 男爵 住友吉左衛門
營業種類 本國定期預金(年六分五厘以下) 本國特別小口當座預金(目下年六分五厘以下) 是は期限を定めず何時にても御引出しが出來又利息は毎年當行にて元金に組入れますから爲替への面倒なき御便利の預金です 本國通知預金(目下日歩一錢五厘)
大阪市東區北濱五丁目
支店 日本內地及海外樞要の處に三十六ケ所あり
桑港支店 桑港カリホルニア街三一五―三一九
鄕里送金、送金手形(無手數料) 外國爲替手形賣買、取立、信用狀發行、貸附其他 御不審の點は御遠慮なく御問合せ被下度候

單語本位 大正日英社交會話 後藤一郎著 ―全篇二百〇二篇―約五百頁―携帶に至便―(一弗五十仙)―
獨習 大正日英新會話 英語研究會著 ―初學に最適の會話書―十一版賣出し―(六十五仙)―
實用英語會話 リチヤード コーツ著 ―忝く日常用の會話を覓む―誰にも重寶也―(一弗半)
ABCも知らずして、直ちに會話が出來る― 五分間英和會話 佐久間次郎著(六十五仙)
最新會話書 (店員聘招 來談希望)
大正日英會話 シー・サマーズ著 ―出版匆々十二版發行―上品な會話書は是―(一弗廿仙)―
英語會話と職業篇 渡邊四郎著 ―何事にも應用し得る會話―便利重寶他に類なし(一弗七十五仙)
英和婦人用會話 富田源太郎著 ―御婦人用語―優しい會話―凡ゆる場合に役立つ―(五十五仙)
笑ひながら覺ねる初等英語 北澤郁太郎 ―極々簡單に面白おかしく說明せり―(五十仙)
北米の五車堂 Tel. West 5488 1698 Post St., S. F. Cal.

小田運送店 ポスト街一七七六 電話フヰルモア四六一
朝日運送會社 桑港ブキヤナン街一六〇一 電話ウエスト七一一七
食料品雜貨 洗濯用品一切 デュポント商會 桑港グリー街一五〇三 電話ウエスト一八三六
日本行瀛船切符御申込に應ず 日本御料理 小川ホテル 桑港カリホルニア街六一二 551 Pine St., S. F. Cal. 電話カーネー一八一六 桑港パイン街五五一
日本行汽船切符販賣 帝國ホテル ガーフイルド 二一八一
羅府東第一街三三一半 みかどホテル 331½ E. First St., Los Angeles, Cal. 日本行瀛船切符取扱(電話)一一七〇四

醫學士、森繁吉、外七大家醫學士共編 疾病大字典 病氣の事は何でも分かる 五、〇〇
星野久成著 ユース・オヴ・ライフ獨習 一、三〇
浪六著 俠骨三人男 一、八〇
菊池寛著 極樂 二、〇〇
英雲外著 諷刺 見る目かぐ鼻 二、〇〇
青木大成堂 1601 Geary St., Tel. West 5361 San Francisco, Cal.

THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.
415-429 Sansome St., San Francisco, Cal.
P. O. Box 3125 Tel. Kearny 1396
橫濱正金銀行 桑港支店
資本金一億圓 積立金五千萬圓
預金總額五億一千六百萬圓
外國爲替預金送金貸附割引等一般銀行業務一切
鄕里送金 日本全國何レノ地ヘモ無手數料最近便ニテ發送
本店預金 通知 日步一錢五厘 定期 六ケ月以上三ケ年迄 利息年六分五厘以下 特別 十ケ年迄(重利)利息年六分五厘以下
支店預金 定期 六ケ月年三分 一ケ年年四分 保護(無利息)

CALIFORNIA STATE LIBRARY
CAL. STATE LIBRARY, SACRAMENTO, CAL.

◇時局を悲觀し愚說に迷ふ

民心動搖は遺憾千万

◎潛在的恐怖心を極力煽りたる
◎在米日本人會の責任も大なり

眞瀬蘇佛（寄）

排日を目的とする直接立法案の投票期日は近きつゝあり、其の成否に就いては正確なる豫斷は爲し難きも、該法案が成立するものとして、之れに對する吾人の決心を据ゑ置くことは肝要なることなり。然るに同胞中には可成りの識者でありながら頗る

▼狼狽 の氣味にて、我が運命の盡きし如くに悲觀し、己れ自身のみならず、他の隣人に迄も之れを說きて益々不安動搖せしむが如き兆あるは甚だ遺憾千萬の事なり。かゝる動搖を惹起したる直接の主因は、最近頻々として傳はる日米間の危機といふ愚說や、白熱狀態にある加州政治界の野心家が盲目的に排日を唱へ歩くが爲めに、それ等の反響が一大事件の突發せしかの如くに誤信せる結果なるべきも、亦其の一面に於ては、過去に於ける在米日本人會の或る行動が此の

▼禍根 をなすものなるべし、事は昨年十一月寫婚問題に關し在米日本人會が臨時代表者會召集に關し發表せる辯明書の一節は確かに同胞の腦底に拔くべからざる一種の潛在的恐怖心を刻み付けたる事は掩ふべからざる事實なり。試みに其の一節を抄錄せん曰く『今にして機宜の處置に出でざるに於ては禍ひは意外に重大なる方面に及ばんも測り難き傾向あり』と同胞の膽を奪ひ又曰く『若し臨時州會にして開會せられんか、吾人の發展に

▼致命 的打擊を加ふべき借地權剝奪其の他重大事の議決通過を見るべき事豫想するに難からず』と實に同胞の心膽を寒からしめたり。其當時に於ては一般同胞は未だ具體的に排日法案の內容を知らず、單に重大なる致命的事件として意識し、願くは此の災禍の至らざらんことを不安の中に祈りつゝありしなり。然るに寫婚禁止の犧牲を拂ふても、更に不安の雲霽れず、幾何も無くして再び『重大時局到來』との暗示は所謂時局費の

▼寄附 となりて益々同胞の心頭に恐怖を强めたり。然し背に腹は替へられぬ。地獄の沙汰も何とか次第故、其の勸誘に從つて禍ひを福に轉ずべく期待しつゝありたり。然も何等功德の效果も齎さず光明も見わず、時局は一日と惡化し來りて、願望叶はず、月餘にして其の致命的重大案は吾人同胞の眼前に具體的に展開せられ、致命的病案は・・・ドシンと同胞の頭上に落ちかゝらんとせり。豈動搖せざらんとするも得べけんや。かく述べ來れば吾等同胞の人心

▼動搖 の一因は確かに在米日本人會の劃策宜しきを得ざりしが爲めなりと信ずるものなり。從つて、在米日本人會は其の責任の一端を負はざるべからず。然れども既往は詮術無し、又咎むべからざるも、只吾人は在米日本人會の幹部諸公は過去の責任を鑑み、此の際誠心誠意を以て、現在動搖しつゝある人心に安定を與ふべく極力盡瘁せられんことを希望するものなり。案の成立を假定してそれに處する最善の方法を案出し誠實に

▼示教 するならば必ず人心靜かに歸し愈々奮勵努力の臍を固め、禍ひを轉じて福と爲し得べし。と之れ正に在米日本人會の爲すべき緊急の最大義務にして責任なりと信ずるものなり。自己の名譽榮達を犧牲にして迄も吾人同胞の爲めに盡さるゝといふ、神崎書記長の如き若し一片の至誠あらば、六萬五千の同胞をして安んじて業務に勵精せしむるを得べしと確信する者也。同胞の動搖の非ある所を見て默するに忍びざる苦言を呈する所以也　——（十月七日稿）

◇經濟上から見た日米關係

▲お互に得意先だから喧嘩は出來ぬ立場にある筈であるこ▲

▲紐育正金銀行副支配人柏木秀茂氏談

昨日の春洋丸にて渡米したる紐育正金銀行副支配人柏木秀茂氏は最近の經濟界の事情に就て語つて曰く『日米間の問題に就て兩國共に或は煽動的な議論を爲し徒らに敵愾心を鼓吹するが如き傾向あれども經濟上より見れば日本はお互上華客の地位にあり日米戰爭の如きは

▲思ひも寄ら ざる處にして日米兩國の識者は此の點を充分了解し居る筈なれば政治的運動のセンセーショナル言論は決して米國の輿論を動かす可きものならずと信ず尙は日米の經濟關係の密接なるは今日迄の日本物價及び一般經濟社會が米國紐育の市場に依りて變動を來し居る事實に徵しても明かなり卽ち米國に對する輸出の減少及び米國よりの輸入額の減少に依る影響が日本の一般

▲市場を支配 し居る事實も明かなる事なり故に經濟上より見れば將來とも日米の關係は永久に親善ならざる可からずと思ふ所以なり從つて日本の一般經濟界も米國の經濟界の挽回に依つて好景氣に向ふ事ならんは本今日の經濟界の趨勢は漸次健實に向ひ居る譯けなれども大商店の倒產や米價の暴落に依りて一般財界が不振なるは止むを得ざる現象にて恐らく

▲茲數ケ月は 不景氣が繼續するものと見て差支なからん向は此の傾向を感知したる日本の商人は永久的對抗戰を云ふ可きか或は消極的方法を許す可きか出費を防ぐ爲めに店員の馘首を斷行しつゝあれば不景氣の副產物として

▲失業者問題 も當然起り居る始末なり而し勞働者の强固なる團體なき日本としては資本家に對抗する有力なる運動も爲し得ざらん』云々

●徒らに騷ぐな

沈着なれ

＝昨日着桑したる
▲原田博士語る

前同志社々長神學博士原田助氏一ケ月間滯在中なりし布哇より昨日春洋丸にて來桑せるが同氏は語る『日本に於ける對米問題は可成り盛んな模樣だが在米日本人としては此際

▲出來得る 限り沈着なる態度を持し刻下の形勢に處して行かねばなるまい、徒らに喧噪したり或ひは其の不可能なるを知り乍ら排日氣運を防止しやう等と試みて失敗し窮地に陷るよりは泰然自若、以て將來の

▲大計を樹 つるに如かずである』云々と、同氏は當分西部に滯在の豫定にてステワードホテルに投じたり

●五百種の國語

聖書二千萬

▼每年出版される

米國美以敎會比律賓敎區監督ロツク博士は萬國日曜學校大會に於ける講演を試み英米兩國に於ける書籍中聖書程に賣れ行きよきものなく日本に於ても亦最近同樣の傾向が現はれて來た聖書の各國語に

▼飜譯された 事は夥しいもので世界各國の割合まで今日自國語の飜譯聖書を有する譯で一世紀前は僅かに五分の一に過ぎなかつたが今日では每年五百種の國語及び方言の飜譯聖書の發行高は約二千萬部に達してゐると述べ夫れより聖書と英文學との關係を論じ其密接なるを證明せんが爲め古往今來の

▼大英文學者 を列擧し更に種々なる反基督敎主義の人々が聖書の價値に夫れ〳〵反對したものであるが夫れは不成功に了つたと述べ日本の儒者の聖書を讀んで改心するに至つた物語に及び非常な感動を與へた

●在米邦人の

既得權保持

▼新協約締結說

（聯合通信東京八日發）

最近着日本の新聞に左の如き報道あり參考の爲め轉載す

排日問題對米交涉に關しては國務卿コルビー氏幣原大使數次の會商に於て新協約締結に依る在米邦人の既得權保持、紳士協約改訂に依る我國の絕對的移民禁止の二點を以て之が解決を爲すべきことに稍

▲意見の一致 を見るに至りたる趣なるが新協約中に主義上邦人の差別的待遇を承認するが如き條項を挿入すると否とは日米兩國に取りて頗る重大なる問題と言ふべく我國に於ても單に在米邦人の既得權のみを確保するを得ば他は如何なる讓步をも承認せんとするものにはあらざるを以て之等の

▲具體的問題 に至つては尙米國政府の希望と一致せざる箇所尠からず殊に一方薩哈嗹問題の解決未了なる等の關係より新協定の成立迄にも尙幾分の折衝を要すべき見込なりといふ

■海相を冷遇

▲演說の聽手がない

海軍卿ダニエルス氏はシカゴ附近のジヨリエーなる町で民主黨應援演說をする爲めに一昨夕同地に出張するも▲フシギに一人も迎へに來た人がないショーことなしに會場に行くと眞暗で人間らしいものは一人もゐない▲フシギを取ツ越し困きつてシブ〳〵市俄古のホテルに引返した▲ホテルで漸く一人の民主黨判事に會つて握手が出來たさはトンダ不人氣

●萬朝報社の

英文特別號

▲日米親善の目的で
…日米兩國名士の意見を集む…

昨日春洋丸にて石川半山氏と共に來桑せる萬朝報理事福永宣吾氏は曰く『此度我社にて發行せる英文號は故國諸名士の日米國交に對する觀察感想を蒐集せるものにして之を米國の名士に配布す可く齎せり猶今回の來米を機として米國各方面の意見をも集めて再び英文號を發するやも知れず』と因に氏は一九一五年の大博覽會當時も記者團に加はり來桑せる事有り

●北河醫師歸朝せず

北河醫院主北河慶次郞氏の談によれば同氏歸朝說は誤解にて近き將來に歸朝の事無く從前通り一般患者の診察治療に從事する由なり

聯盟を中心としての政戰

共和民主兩黨の政戰關なり

（廿九）　丸山薄川

憾く兩者の間には符節を合する節々が仲々に多く、多分兩君の間には是迄常に意見の交換ありしならん。時にはヘリツク氏の如く愈々ルート案の概要なり、彼の意見を齎らせるものありて、斯くてハーデングの意見がルートの意見の反影に過ぎずと解せらるゝに至るのである。最後に余は是を關聯して一の興味ある國務卿の談話を記さふ。コルビー氏はルート一團により代用せらるべしとの上記の風評を否定し『該案は單に聯盟會議の案出せる一計劃にして、并は一先づ聯盟會議に附與せられ其承認を受くべきものなり』と語り、更に『是等一團の法學者に依りて制定せられたるものは聯盟會議の指定せる所に從ひて注意深く運ばれたるものなり』と云つてる。斯の如きは如上のルート對ハーデングの關係を全然否定する如く見らる。然し火の無い所に煙の無いとの理に洩れず、兩者の間に何等かの消息交通のありし事は疑ふ可からざる事である。ルート自身の意見が直に、ハーデング自身の說なりとも、彼がハーデングの政策に材料を供し、歐洲政客の意向なり、現聯盟の狀態を示して民主黨對共和黨の聯盟政策に幾多の貢獻をなせるものありと見る可きは是當であらふ。記して將來の事件の發展に其眞相を確かしむる事ともしやう。

▲兩政策の對照▲

兩黨の政策が其主義と主張を異にして著しき對稱を倣しつゝある事は興味ある事である。左に其顯著なるものを擧げて聊か評論を下して見樣。

一、共和黨が其政策に於て嘗て歐洲戰爭に依りて齎らされたる不常規の情態を改正せんとするものなりとすれば、民主黨は是に反して、同戰爭に依りて齎らされたる新狀態に准じて、新政策を施す可しと云つてる。斯くて兩者の間には自然、保守主義と進步主義の判然たる區別が劃されてる。隨つて此相違はコツクスをして、常に挑戰的行動を執らしむるに比し、ハーデング及び其黨派は常に辯明又辯明に日も足らざる感がある。嘗て一共和黨紙嘆じて曰く『我黨の政策は果して孰に在りや、彼等は其最初の計劃の如く、ウイルソン主義を攻擊せんとして、邁往しつゝありや否や。否彼等は絕わず、只コツクスの挑戰に已耳聽じて日も足らざるものあり、然かも常に彼をして新らしき攻擊の余地を與へしめ、自ら絕わず受味となりて、嘗て彼等が企劃せる攻擊的政策は今や片輪なる受動的政策と變れり』と云つてる。又或者は我黨にして若しコツクスあらばと慨してる。斯の如きは啻に是等二三のものゝ嘆聲已耳に非らずして、又同黨中尠からざる同感の士を有すべく、夫丈民主黨は得意であり活氣がある。

●財界恐慌は

稅關にも祟つた

▼堆貨三十萬噸

＝栗山稅關鑑査官來桑す＝

約一ケ年の豫定を以て米國及び加奈太の稅關事務視察の要務を帶び春洋丸にて來桑せる橫濱稅關勤務鑑査官大藏省技師栗山正雄氏は語る『稅關事務も戰前と比較すると今日は

▼非常 に萬事が復雜となつた特に戰時中は色んなレギレーションが出て困らされた米國で目下重大問題となつてゐる鴉片、モルヒネ等禁制の密輸入問題も十年以前には日本でも可成り手古摺らされたものだが最近は殆んど絕滅した

▼今年 の財界恐慌は稅關にも隨分大きな祟りが來て殊に財界不振の結果日本の荷受主で引取る事の出來ぬ輸入貨物が三十萬噸も埠頭に堆積した爲め其の處分に困難を見た』云々と猶ほ同氏は聖フランシス・ホテルに數日滯在の上東行の豫定なり

●米價協定困難　昨日桑港に於て開催せられたる米價協定の相談會は昨日午後迄は耕作者側と米價所側の協定仲々折合ひ付かぞ米價協定は懸案となり居れり

●御商側例會結果　一昨日小川ホテルに於て開催したる御商組合例會に於て非組合員との合同問題を協議したる結果御商組合側の意嚮を調停者たる正金住友兩銀行の支配人に通知することゝなりしと

●明洋安洋ボ港寄港　東洋汽船會社新貨物船明洋丸は歸航ポートランドに寄港する事に決定尙は南米航路安洋丸も寄港する事となりたりと

●ジヨンソン氏出發　ハーデング候補の爲めに東部諸州を遊說すべきハイラム・ジヨンソン氏は今土曜當市出發東部に向ふべし

■要求欄■

人事

求人　日本にて中等敎育を受け簡單なる英文飜譯に差支へなく年齡三十歲前後にてポピュラーの人右本社廣告係として試驗の上採用す希望者は自筆御照社を乞ふ　日米新聞社

夫婦者入用　傍ひ委細面談　公園　荻原　電話パシフキツク二六二四

職工入用　カウンター一名洗場一名至急入用高給を拂ふ　富士山洗濯所　561-29th St. Oakland

婦人頼みたし　針仕事希望の　安藝洋服洗濯所　青木大成堂　電話ウエスト四七七八　サター街二三六三

店員入用　委細御來談の事

職工　アイロン二名夫婦者でよし洗場一名經驗の有無を問はす高給を拂ふ　メリスビル 218-2d St. Marysville, Cal.　日本洗濯所

店員　小賣部係　倉庫係　至急入用　委細面談　ポスト街二五三三　岩田商會　電話メーン一八六

セコンドコツク　ウエター　皿洗ひ　至急入用　委細面談高給を拂ふ　カーネー街八百二十番　東郷洋食店　電話カーネー四五八四

店員一名入用　給料其他委細面談　ブキヤナン街一七四九　萬屋　電話ウエスト二四九九

熱練アイロン師至急入用但し夫婦者にてもよし　ゲリー街一五六二　キヤピタル洗濯所

アイロン師　二名至急入用高給を支拂ふ　ウエスト三七六〇　2409 California St., San Francisco, Cal.　フエボリート洗濯所

自動車使用人　一名募集す給金其他の件は書面又は面談にて　P. O. Box A Walnut Grove, Cal.　河下愛知商會

■賣物件■

自動車修繕所　桑港日本人町中央に經營せる自動車修繕所都合に依り讓渡したし委細は左記へ御來談ありたし　ポスト街一八五七　日本タイヤー商會

靴工店　至急讓りたし主、歸國繁榮の靴店　委細面談　2705 Grove St., Oakland　西岡靴工店

ダブルツラク　四十五馬力安價にて讓渡したし希望者は　須市日米支社へ

貸家　日本人に貸したし四室電燈つきフラツト各室全部改造せり　直接家主と交涉ありたし　サクラメント街三〇三七

貸地　八十英町所在櫻府より八哩エルクグローブより二哩半導に最も適する土地肥沃果樹にもよし　希望者は直接左記持主へ申込む事　Otto Von Raven Rt. 1 Box 15E, Elk Grove, Cal.

苺園貸したし　十英町の苺園收穫分配法を以て貸したし水は澤山あり午後六時半以後來談ありたし　R. F. D. Box 97 Menlo Park, Calif.

捨賣　日本政府發行英貨公債を捨賣　參議　レンント街二五一二　內吉付

古本高價買入　如何なる書類にても差支なし運賃先拂にて御送附を願升着荷次第御送金致升　文明堂書店　123½ N. San Pedro St., L. A. Calif.

■尋ね人■

內田トシ子樣　に會ひたし住所御承知の方は御面倒乍ら左記へ御知らせ下さい　Mrs. T. P. Gregory, 2958 Scott St., S. F.

後藤千代藏　殿　廣島縣安佐郡三篠町大字楠木　右住所知りたし御存知の方御報願上候　松井石太郞　P. O. Box 77 Colomba, Rep. of Guatemala, C. A.

告　ターラツク森本、澁澤、垣見、今野、淸藤右五名に對する勞働要求者は大至急現住所をターラツク日會迄通告ありたし　ターラツク　森本外四名

渡邊學（栃木縣人）氏に告ぐコートランドの件藤智淸作氏仲介無事解決至急面會したし住所乞御通知　R. F. 1 Box 79-C Elk Grove,　秋山法一

武田竹造　ユタ州　右の人々住所知りたし　日米新聞社

ポスト街一五八〇　自動車修繕所　電話ウエスト一八八八　山崎　太田

森山寫眞館　●夜間撮影自午前九時至午後九時　桑港サター街一七九七　電話ウエスト六一五二

Flynn & Collins 會社　フオード自動車日本人部販賣主任　大久保保　1862 Pine St. Tel. Fillmore 3264

水晶印形　甲州堂　1311 Eddy St., San Francisco, Cal.

フランクリン　六六　賃金低廉　迅速叮嚀　應御用命

自由公債　貸金　賣買及び抵當低利貸金　貴金屬品　寶石賣買勉强　物品は七ケ月保管す　エコーン　フイルモーア質店　桑港フイルモア街千百番ゴールデンゲート街角

金門商會　桑港グリー街一五二九　電話ウエスト四三七九

かまぼこ　製造卸小賣　特に御贈答品は御注文次第調製　並に鮮魚食料品一切

御菓子御商　菊屋商店　桑港グラント街四一七　電話ガーフイルド二二九八

御祝御佛事用　長崎名物カステラ特製　御菓子司　花月堂　桑港ポスト街一七三二　電話ウエスト六〇二

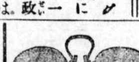
上等婦人帽子　特別勉强　ローズ帽子店　フヰルモア街一六四〇（夜間營業）ポストとグリーの間

精肉切賣　並にすき燒　博多屋　ブキヤナン街一七〇九　電話ウエスト一六六二

家具　ホワイト裁縫ミシン特約販賣店　宮崎家具商會　桑港グリー街一六〇五—九　電話ウエスト四三二七

自動　ウエルドン消火器　各國專賣特許　之を備ふれば火事の恐れなし

東洋及米國一手販賣　三德商會　桑港ウエブスター街一五六二　電話ウエスト四二七一



澤山の醫者に見て貰ふ事なく萬事相談に來て下さい

Dr. George Mayerle

桑港にて廿五年間開業　視力檢查●眼鏡師

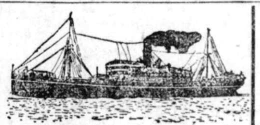
Mayerle's 眼養生液●大人小兒眼藥　藥店にて五十五仙　郵送七十仙

960 MARKET ST,　SAN FRANCISCO

進物用鑵入茶

品名	一斤	半斤
相馬山	一弗五十仙	七十五仙
千代の友	一弗六十五仙	八十五仙
寒の梅	二弗	一弗
花の香	二弗	一弗
最上	二弗五十仙	一弗二十五仙
大走り新茶	三弗	一弗五十仙
相馬自園	三弗五十仙	一弗七十五仙
富士自園	三弗五十仙	一弗七十五仙
玉露 好老松	二圓	一弗
花の白	五弗	二弗五十仙
王冠	六弗	三弗

SOMA TEA STORE　232-234 E. First St., L. A. Cal.　Phone 63198　相馬茶店



船名	着	發	
春洋丸	十月八日	十月十六日	波止場卅四番
朝洋丸	十月九日	十月十日	貨物船日本行
香洋丸	十月十六日	十月十七日	貨物船
安洋丸	十月十八日	十月廿日	南米行
明洋丸	十月廿八日	十一月一日	貨物船日本行
ペルシャ丸	十月十六日	十月廿三日	
さいべりや丸	十一月九日	十一月十九日	
これや丸	十月廿七日	十一月五日	
天洋丸	十一月廿四日	十二月三日	

日本行　マーケツト街六二五　電話サター三九〇〇　東洋汽船株式會社

シアトル出帆廣告

船名	日	時
伏見丸	十月廿七日	午前十時
香取丸	十一月十九日	午前十時
諏訪丸	十二月十日	午前十時

日本郵船株式會社シアトル支店　409 Colman Bldg. Seattle, Wash.

觀光團員募集　山口屋旅館　通知次第趣意書送呈　東洋觀光團員出國稅免除特典此際申込あれ　37 Jackson St., San Francisco, Calif. Tel. Kearny 2487

觀光團員募集　日本ホテル　十一月十九日サイベリヤ丸桑港出帆東洋觀光團、瀛船切符取次　電話ウエスト五二一五　1551 Laguna St., San Francisco, Calif.

第七回桑港旅館組合主催　東洋觀光團　觀光團員募集　安藝ホテル　御通知次第趣意書送呈可仕候　館主　片岡一郎　1651 Post St., S. F. Tel. West 6211

觀光團員募集　北米旅館　日本行汽船切符代理取扱　高田粂吉　電話ウエスト二九一六　1570 Buchanan St., S. F. Cal.

觀光團員募集　Ⓣ田村旅館　御通知次第趣意書贈呈　日本行瀛船切符取扱　館主　田村信吉　電話ガーフイルド二一九六　440 Pacific St., S. F. Calif.

KASHU HOTEL　1019 Stockton St., S. F.　Tel. Douglas 3113　Sutter 8667

迎妻者の福音　來る十一月十九日サイベリア丸　第七回東洋觀光團々員に限り出國稅免除の特典を有す　加入御希望の方は御一報次第趣意書を御送附可申上候　申込所　加州館　館主　中野作太郎

菓子職工及見習至急入用　御菓子輸出入　勉强堂製菓會社　桑港グリー街一五三三　電話ウエスト七五三七

移轉廣告　今般業務擴張の爲左記に移轉致し御披露の爲當分割引にて差上可申候間何卒倍舊御引立御愛顧の程奉願上候　桑港ポスト街一六〇一　電話ウエスト五九七七　大正藥舖

醫者と病人　專門　通譯　✚諸病各科專門白人名醫を紹介し懇切に一切の御世話をする、質問隨意、應答無料　●鈴木事務所　▲桑港ブキヤナン街一七三一　▲電話ウエスト八一二四　K. S. SUZUKI'S OFFICE, 1731 Buchanan St., S. F. Calif.

米全國の總人口

▲更に發表された詳細な報告
‖各十年毎の人口と增加數統計
‖米國は世界の第四位に位すと

昨紙所報中央國勢調査局の發表になる合衆國人口に關し昨日に至り更らに一段詳細なる調査統計が發表された其れに依ると一億五百六十八萬三千百八人と云ふ現在人口は米國の

▼海外領土　に在る約千二百二十五萬人とアラスカ在住者並びに陸海軍々人を含んでゐないとの事だから若し其れ等が加はれば優に一億二千萬近くになるだらう猶は一七九〇年以降各十年間の人口及び增加を示すと左の如くなる

年度	人口	增加
一七九〇年	三、九二九、二一四	
一八〇〇年	五、三〇八、四八三	一、三七九、二六九
一八一〇年	七、二三九、八八一	一、九三一、三九八
一八二〇年	九、六三八、四五三	二、三九八、五七二
一八三〇年	一二、八六六、〇二〇	三、二二七、五六七
一八四〇年	一七、〇六九、四五三	四、二〇三、四三三
一八五〇年	二三、一九一、八七六	六、一二二、四二三
一八六〇年	三一、四四三、三二一	八、二五一、四四五
一八七〇年	三八、五五八、三七一	七、一一五、〇五〇
一八八〇年	五〇、一五五、七八三	一一、五九七、四一二
一八九〇年	六二、九四七、七一四	一二、七九一、九三一
一九〇〇年	七五、九九四、五七五	一三、〇四六、八六一
一九一〇年	九一、九七二、二六六	一五、九七七、六九一
一九二〇年	一〇五、六八三、一〇八	一三、七一〇、八四二

右の表で見ると十年前迄は

▼各十年毎　に增加率が增加してゐるに反し本年度の調査では率は多少減退してゐる傾きがあるが右の原因は戰時中外國人の歸國數が多かつた事や一昨年來流行した西班牙感冒での死亡等が其の大なるもの猶今回の調査で一九一〇年の調査で全國各州中の

▼第十二位　に在つた加州が一躍第八位に飛び上つた事は既報の通りだが今各州の人口數を示すと左の如し(人口順)

州名	人口
紐育	一〇、三八四、一四四
ペンシルバニヤ	八、七二〇、一九五
イリノイ	六、四八五、〇九八
オハヨー	五、七五九、三六八
マサチユセツ	三、八五一、六一五
ミシガン	三、六六七、二二二
加州	三、四二六、五三六
ニユジヤシー	三、一五五、三七四
ミゾリー	三、四〇三、五四七
インデアナ	二、九三〇、五四四
ジヨージア	二、八九三、九五五
ウヰスコシン	二、六三一、八三九
北カロリナ	二、五五六、四八六
ケンタツキー	二、四一六、〇一三
アイオワ	二、四〇三、六三〇
ミネソタ	二、三八六、三七一
アラバマ	二、三四七、二九五
テネシー	二、三三七、四五七
ヴアジニア	二、三〇六、三六一
オクラホマ	二、〇二七、五六四
ルヰジアナ	一、七九七、七九八
ミシシツピー	一、七八九、一八二
カンサス	一、七六九、二五七
アーカンサス	一、七五〇、九九五
南カロリナ	一、六八三、六六二
西ヴアジニア	一、四六三、六一〇
メリーランド	一、四四九、六一〇
カネチカツト	一、三八〇、六八五
華州	一、三五六、三一六
ネブラスカ	一、二九五、五〇二
フロリダ	九六六、二九六
コロラド	九三〇、三七六
オレゴン	七八三、二八五
メイン	七六七、九九六
北ダコタ	六四五、七三〇
南ダコタ	六二五、八三九
ロードアイランド	六〇四、三七九
モンタナ	五四七、五九三
ユタ	四四九、四四六
ニユーハンプシヤイア	四四三、〇八三
アイダホ	四三一、八二六
ニユーメキシコ	三六九、二四七
バーモント	三五二、四二一
アリゾナ	三三三、二七三
デラエア	二二三、〇〇三
ワイオミング	一九四、四〇二
ネバダ	七七、四〇七

(外にコロムビア區の四三七、五七一人あり)

更らに合衆國の

▼現在人口　を左記諸國の人口(大部分が一九一三年の調査)に比較すると第四位に當り卽ち

國名	人口
英帝國	四三五、〇〇〇、〇〇〇
支那	四〇〇、〇〇〇、〇〇〇
露國	一八〇、〇〇〇、〇〇〇
米國	一〇五、六八三、一〇八
日本	七五、五〇〇、〇〇〇
獨逸	六五、〇〇〇、〇〇〇
蘭領印度	四八、〇〇〇、〇〇〇
ベンガル	四五、四八三、〇七七
佛蘭西	四〇、〇〇〇、〇〇〇
伊太利	三五、〇〇〇、〇〇〇
ウクライニア共和國	三〇、〇〇〇、〇〇〇
墺太利	二九、〇〇〇、〇〇〇
土耳其	二五、〇〇〇、〇〇〇
伯剌西爾	二二、〇〇〇、〇〇〇
西班牙	二〇、五〇〇、〇〇〇
墨西哥	一六、〇〇〇、〇〇〇
白耳義	七、五〇〇、〇〇〇

の順序となつてゐるが內

▲英帝國と　ある中には愛蘭、蘇格蘭、濠太利、加奈陀、印度、埃及其他英領を含んでゐる

前國勢調査の主任を告發

▲酒の仲買問題
辯護士マニンタス氏

問題となつてゐる酒類不正運搬許可證問題に關聯し今春擧行された國勢調査で桑港の主任となつた辯護士マニンクス氏がジフエリーと呼ぶ酒場の主人から酒買入れを賴まれ金丈け取つて品物を渡さなかつたと云ふ廉で同人から訴へられたが問題は益々開展するらしい

◇時局講演會

▲レ教會にて
‖原田、石川兩氏出演‖

桑港日會主催にて今九日午後八時よりリフオームド教會に於て時局講演會を開催出席諸辯士及演題は左の如しと

『人種問題と日米問題』　前同志社々長神學博士　原田助氏
『余が渡米の目的』　萬朝報主筆　石川半山氏
(外桑日會時局委員數氏)

●干涉權無しと

▲海軍と重油問題

帝國海軍特務艦「洲埼」が重油積込みの爲め目下桑港碇泊中なる事は昨紙に報道せる處なるが例のエキザミナー紙は『米國海軍が石油不足にて困難なるに日本より多量の重油積込に來り英人經營のシエル會社と七萬七千樽購入の契約を結びたるが米國海軍當局者は之を不快とすれ共干涉權無き爲め打棄て置けり』云々との記事を揭げ居れり

●邦人側無關係

▲支那人酒密送事件

桑港ブキヤナン街支那料理萬花樓給仕高亭の酒精運搬事件に關して同街貸自働車業舟田及び小

◆陸軍手當增額

十月七日召集されたる臨時閣議は軍人の手當增額を承認す

◆朝鮮師團設置

關東軍の一部と龍山第二十師團の一部とは西比利を引き揚げたる軍隊とを以て朝鮮に第二十一師團を設置する事に決定せり
(本社東京特電八日午后六時着)

川藥店主に累を及ぼせる事は當時報せる處なるが一昨夕小川藥店へ合衆國藥劑監督官來り同店の酒精所藏量及び賣上帳簿を檢査せる結果同店にて不正販賣を爲さざりし事判明したる由なるが之にて邦人に關する方面は無事落着し高亭のみ起訴され合衆國地方裁判所に廻附されたり

●游ぎ疲れて浮標に縋る

▲脫船未遂火夫
‖和歌山縣人井本新一郎‖

昨早曉桑港第三街の沖合に碇泊中なりし神戶辰馬汽船株式會社所有の吳羽丸より脫船上陸を企てたるも米國官憲の發見する所となり遂に捕はれたる

▲少年火夫　有り、名を井本新一郎(一八)とて和歌山縣日高郡和田村の者なるが和歌山中學校三年迄修め家事上の都合に依り廢學し前記の汽船に火夫として乘組み去月十八日北海道室蘭を出帆一昨日着桑せるに馴れぬ勞働に耐へ兼ね一は青雲の志抑へ難く米國に於て

▲勉學せん　ものと昨曉四時頃海に飛込み陸上指して泳ぎ出したる所潮流早く押流され寒氣甚しく氣根絕きて浮標に縋り居たるを通掛りの小艇に救はれたるものなるが目下市監獄に拘禁中なり、因に吳羽丸は昨朝七時頃紐育へ出帆せりと

●畫界の新星　靈智派

▲創造者久米氏
◎畫風を歐米に紹介の爲め來桑す◎

故國美術界に靈智派と云ふ一派の畫風を開いて評判されてゐる畫家久米民十郎氏が昨日の春洋丸で來桑した、同氏は日米兩國有力者の後援で同畫風を歐米諸國に

▼宣傳す▲　るの目的で渡米したとの事、今回の旅程は約三四ケ月を限つてゐるさう

で自己の畫風に就て說明らく『私は久しく…したので米國の紹…と直ぐ渡歐する積…が此の畫風を

▼創造し▲　たのは…本に於ける現在の…畫界に慊らず種々…果で根本は禪から…來の色とか線とか…直路萬象の眞の性…と云ふのが目的で…成り好評を受けて…

▼日本で▲　一…の上幾分自分の滿…

◆先づ當分は續きさうな　原內閣の壽命

理由の第一は肝腎の後繼者が無い
何れを見ても『山家育ち』の顏觸れ
▼但し暗礁‖は第四十四議會
萬朝報主筆　石川半山氏談

『原內閣の壽命？……夫れは恐らく原自身にも分つて居まいと思ふ』故國政界の內情に就き昨日の春洋丸で來桑した萬朝報の主筆半山石川安次郎氏は語る、『予が橫濱出發後に如何なる

▲變化が　有つたかは知らぬが當時の模樣では先づ來る四十四議會迄待つて行くとは能き相であつた、何分野黨の面々が無力であり原內閣が如何に失政續出するとも之を糾彈して政局に一轉機を作る事が殆んど不可能である、のみならず原が投出した處で

▲誰も後　を引受け得る人間が居ない世間には後藤(新平)田(健次郎)等の呼聲も有り或ひは後藤が朝鮮總督に廻つて齋藤(實)が出るだらうとの下馬評も無いではないが出れにしても是等は政友會を土臺としての話であつて原內閣の變體に過ぎない

▲今春以　來のとだが後藤又もう一つは犬養(毅)それに大石(正巳)が復活し此三人が大隈(重信)を推して憲政國民兩黨を基礎とする內閣を作らうとの目算も有る然し之は加藤(高明)を何う納めるか

に至つては困難な問題だらう何しろ原內閣が最も强味とする點は後繼に

▲適任者　が居ないといふ事である田中(義一)の辭意も久しいもので殊に尼港事件の際は愈々決心したのだが、そうなると內閣も崩壞するのは當然故、原は極力引留策に腐心したものだ其處へ、畏き邊りから田中に優渥なる御諚も有り然らばと云ふ事になつたらしい

▲山縣も　適當な後任さへ有ればと云ふ腹は確かに有るが閣僚には孫分の田中も居るので

今無理にもとの氣は無い、然し山縣か大隈と會つて共に闕下に奏上する時は原內閣の沒落を意味するものと見て差し支へは無い、次に貴族院の方面を見るに

▲原內閣　の氣受けの惡い事は實に甚しいもので硏議會にも江木(千之)及び幸俱樂部の一

本日の英文欄

論說欄には十月三日の社說「紳士協約改締……之れ交換條件」の譯及桑港の第一クリスチアン敎會牧師ゴールドン博士の排日論者の論法の矛盾十二個條等を載せ「日本神代物語」「武士道」及び「猫」は前週よりの續きにして本號には米國出生少年少女諸君の懸賞論文の當選者及び選外佳作者の發表及び一等二等當選者の文章を載せたり

◇春洋丸

▲昨早朝着桑
‖船客は各等六一…

東洋汽船春洋丸は豫定…早朝桑港に入港同九時…號埠頭に繋留せるが同…廿二日橫濱出帆以來平…續け途中事故としては…

▲支那人　三等客二…て死亡、積載貨物は…

▲大豆一、五六三袋　▲雜…味噌七七〇樽▲米一九〇…二二梱▲栗一四〇三梱▲…

等にて合計二一九七四噸…一等二一七名、二等六二名…名合計六一六名

にして邦人船客氏名縣…

▲一等　戶塚五郞…

●慢性自白症患者

▲自ら殺人犯と名乘る

旣報羅府に於ける鑛山…トン殺害事件に關し…邸宅地下室より慘死體…警察は極力犯人の搜…しが一昨日桑港警察の…されし墨國人ロドリグ…浮浪犯は自ら進んで同…の累犯者と自白し當…羅府警察に照會の後出…陳述する處ありしも警…なる『慢性自白症』な…るを以つて警察側にて…自白に對し餘り重きを…もの如し

●雜貨商組合ご…

▲役員改選…

桑港日本人和洋雜貨商…過日來米人卸商に對し…

●半舷上陸

▲洲埼乘組員

旣報當地第卅四波止場沖合…が海軍特務艦洲埼は今九日…業に從事し明後十一日マデ…定なるが乘組將士及び水兵…市內見物することゝなり…港日會の案內にて市內各所…日會にては特に同會事務所…務所を公開し將士の休憩所…

派が先鋒となり猛烈…を放つた事は周知の…うで今度の第四十四…わたとしても貴族院…る暗礁となり原內閣…然であると思ふ』云々…

◆大菩薩峠

昨日來桑春洋丸三…島縣人高山新太郞氏は伴守人が…病氣の爲め布哇に上陸せりと…
▲布哇に上陸

▲…校大會　は七日夜帝劇を借り受…

公人私人

…(小樽高商校長)同上
…(東京中央新聞記者)春洋丸にて…
…(本社々員)新夫人同伴春洋丸…
…(實業の布哇社長)同上

●加州勞働黨決議

昨日の布市電…は在加州一万の邦人農業家より…保護協會は米國勞働聯盟首領サ…ゴムパース氏に對し加州勞働聯…於て來る十一月の新土地法實施…對の決議を爲す可く盡力され度…るにも拘らず同氏より返電到着…日同大會は贊成を表決せりと

●佛國陸軍好意　佛國陸軍省醫局長は日…軍に對し六十の大天幕を備へたる野…自動車を石井大使を通じて贈…

●…

…件　桑港ワシントン街二九八六…服洗濯所にて去る二日華客の洋服…紺廿五弗を紛失せる旨昨日警察本…出たるが竊盜嫌疑者として當時電…ヲに來れる附近の某を擧げ居れり…四一四のパルム・アパートメン…ジヨージ山田といふは去る五日同…室に置きたる自轉車一臺を盜まれた…人はスプリング・ヴアレイ小學校…ヴン・ループ(11)にして翌日同…ス・キーテングを經て返却謝罪…

…會演奏　杵屋彌曾代師匠…彌生會は明十日夜八時よ…リー街一八七九に於て長唄…會を開催する由にてプログ…は左の如し

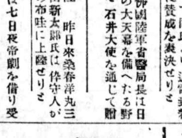
●…

…田氏陸進　前東洋汽船桑港…員にして目下春洋丸乘組の…次郞氏は今回正式に船長…船を得同船々長龜高氏の下…フ・オフキーサーとして…來れり

…日の春洋丸便にて渡米した…同島日本人問題と關係淺か…加州及び米國に於ける一…日問題に就て視察研究を…定なりと

活版見習、新聞發送、配達

‖日米新聞社



斬新流行
大勉强
谷靴店
グリー街一五〇九
販賣部
修繕部

今回事件出來致候へ共一向差支へ之無從前通り營業罷在候間何卒御安心御取引被下度此段廣告仕候也
十月四日
丹原組

告高知縣人
今回縣下八十年來の大洪水にて人畜の被害甚大なる爲め盛に義捐金募集中なるを聞知し吾々在留縣人も可及的援助致度多少に不拘御寄附願上候尙寄附金額芳名は一々縣廳に送達可仕候締切十月廿日限
北米高知縣人會
1587 Post St., S. F. Cal.

原田寫眞館
(ポストとゲリーの間)
桑港フイルモア街一六〇三
電話ウエスト六三六〇

實用英語學校(千九百二年創立)
Misses Coleman & Lloyd.
2905 Bush St. Near Lyon St., S. F.

●桑港麴の元祖　其名嘖々たる藤本商會の正麴は一大擴張を計ると同時に品質及包裝に改良を加へ且つ安價多賣主義を以て一般顧客の利益を計るべし
Fujimoto Co. 1014 Stockton St., S. F.

●天カギダイ白味噌　廿五斤入三弗四十仙干麴二斤入七十五仙加州內運賃無料品質善惡茲に申さず御試しなれば分明各地に販賣店ありなき處の方は直接左に
Kagidai Miso Co. 1534 Post St., S. F.

●エビスホテルと觀光團員募集
來る十一月十九日出帆の東洋觀光團員に限り出國稅免除の特典を有す加入御希望の御方は滿員にならざる中に御申込被下度候
1645 Buchanan St., S. F. Calif.

最新刊紹介
永井柳太郞　改造の理想　二、〇〇
中山啓譯　クロポトキンの經濟學說　三、八〇
米田庄太郞　米國のI・W・W・の硏究　二、九〇
川島正次郞　I・W・W・　二、五〇
バートン　恐慌論　二、〇〇
藤田浪人　ルーソー民約論　一、八〇
南木摩天樓　時の人、永遠の人　二、六〇
厨川白村　象牙の塔を出て　二、八〇
中村吉藏・井伊大老の死　二、二〇
久保正夫　グエテ親和力　一、四〇
生田春月　ハイネ全集小曲集　二、七〇
坪內逍遙　始終戀をしてゐる　六五
長田幹彥　白鳥の歌前後二册　四、二〇
溝口白羊　尼港事變國辱記　二、八〇
よろづ商店
1300-4th St., Sacramento, California

祝廿有五週年　永本ホテル
弊館茲に營業廿有五年に相當るを以て聊か日頃の御愛顧に酬ひんが爲め八月一日より向ふ十二月卅一日迄御投宿の御方に限り漏れなく抽籤を以て破天荒の大景品進呈仕り尙館員一同大車輪にて勉强仕可候間御家族御迎ひ御歸國の御用務にて御出桑の際は御投宿の榮を賜り度如何なる手續をも懇切に御世話申可候に付何卒永當々々御最負御引立の程偏に御願申上げ候想ふに隻一肝よりして弊館の土地家屋に至る迄我所有に歸し昨今の隆盛を來し候は偏に在米各位平生の御最負御引立の賜と館員一同衷心より感謝致し居候　敬白
桑港サウスパーク街二十二番　電話サター一八六六一　館主　永本要藏

最新式自轉車モータサイクル及附屬品一切並に修繕
中古、クリブランド、モーターサイクル多數持合あり
輸出入御小賣
部谷自轉車商會
桑港ポスト街一八二四
電話ウエスト八三九六

第七回桑港旅館組合
主催　東洋觀光團
團員大募集
防長旅館
桑港サウスパーク一〇二
電話サター　八五〇一

諸機械設計、改良、製圖、及機械什器購入せんとする人の爲めに援助すパテントに關する設計考案並に其出願手續等の需に應ず
松尾機械設計事務所
機械設計技師　松尾萬治
桑港ポスト街一八一六　電話ウエスト九五五六

讓受廣告
私事今回藝備旅館を讓受け益々勉强營業可致候間何卒倍舊の御引立の程奉願上候
桑港スタクトン街七三八(トンネル前)
藝備旅館
館主　杉岡岩治
電話ガーフキルド二〇五九

シンガーミシン
シンガーミシン會社在勤
◎御小賣◎古手と交換◎裁縫無料敎授
桑港ブキヤナン一三二　電フキルモア一九〇八
みとま

桑港ポスト街一八二二
カキモチ並煎餠卸小賣
春月堂
電話ウエスト一四二八

本年度新茶定價表
春　相馬園　一斤一弗廿五仙
初　大走り鑵入　半斤一弗五十仙
同　大々走新茶　一斤三弗
　　大走り新茶　一斤三弗
相馬第一　一斤十五弗
同第二　十二弗五十仙
同第三　箱十斤入十五弗
同第四　箱五斤入六弗
同　五弗
相馬茶店
234 E. First Street, Los Angeles.
電話六三三一一九八

水晶印形專門　甲州屋
1311 Eddy St., San Francisco, Cal.

金門貸自働車　猪野
ポスト街一五三七　電フイルモア三五三七

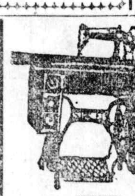
◎引延◎進呈◎吉里寫眞館
桑港フイルモア街一四三七
電話ウエスト八六五〇

和洋雜貨、時計、寶石類、煙草
財滿商會
桑港ゲリー街一五一五
電話ウエスト九三九二

元吉寫眞館
桑港フヰルモア街二〇〇九半(パインとカリフオルニア間)
(電話)ウエスト一〇五四

英語個人教授
グリー街一四〇八ミセスカイル

米國立養老保險
米國小兒專門保險加入年齡は產後六ケ月以上ポリタン代理人タケ桑港ブツシユ街二一五〇
Tel. West 1245　武永照太郞



一日十仙　たやすく買へます
シンガーミシン特價販賣
桑港ブキヤナン街一七一五
電話ウエスト　四〇三七
太田永太郞

紳士淑女子供兼用靴一切
特別大勉强
日本人向
浦川靴店
桑港ポスト街一七一七
電話ウエスト一三二九

病者の爲
信賴の出來る醫師、血液檢査所及びX光線部の紹介と通譯をなし病者の相談に應ず
桑港ラグナ街一四三二救世軍顧問
電話ウエスト六〇八二醫事部
同へムロツク街五二五　電話フイルモア六一八
古庄弘

タムラ藥舖
新洋賣藥並に男女用品一切
說明書は御申越次第差上ます
TAMURA YAKUHO, 1708 Buchanan St., S. F. Cal.

大河原法律事務所
T. Okawara, Hearst Building San Francisco, Tel. Sutter 3127
電話パシフイツク八四八一

補血强壯　オー、オー强壯錠　一ケ月分金二弗
小川藥舖(目錄進呈)
米國藥劑師　小川龜重
電話ウエスト九五七
OGAWA'S PHARMACY, 1703 Buchanan St., S. F.

土壤講話

アルカリ性土壤 其起原は如何に (七)

加州大學教授 リップマン博士

土壤學に直接關係の無い植物病理學特にパイナップルの黄斑病について少しく詳細に亙つて講義をしたのは自分の前に繰返して説明した土壤其物に含有する成分とそれが植物に吸收せられて養分となるや否やは一に其成分が水分に溶解する能力の如何に依つて致す理論を實例によつて讀者に説明し尚嘗つて不可解とせられた生理的の一植物病害を土壤水分に缺乏せる要素の供給によつて治療し得た事實に及び尚將來には現在の生理的病害豫防又は治療に對する有効方法の發見に到達する可能性のある事を説明して讀者の理解に便ならしめん爲めである次に半乾燥地帶なる加州に於てよくあるアルカリ土壤について説明を進むるが普通アルカリと稱するは土壤中に蓄積せられた鹽類の總稱で時に其鹽類はアルカリ性即ち酸と反對の化學的反應を示すソジウム・カーボネート(黒アルカリ)を意味し又他の場合にはソジウム・サルフェートの如く中性の反應を示す物質を呼ぶ普通人の思ふて居る如くアルカリ鹽類は必しも食鹽のみを指示する名詞でなく各種金屬即ちカルシュム、マグネシウム、加里等の鹽化物總てを包括する而して此アルカリ鹽類の起原は海水及び海岸附近鹽類含有地から出る物と岩石の分解して其含有鹽類が一度び水に溶解するが後再び比較的淺い表土に凝結して吾々の注意する所となるのである後者の場合にアルカリ形成を助長するは地下水の高さ土壤組織が水分疎通に不適當であるのと降雨不足等である鹽類總ては植物に有害と一概に云ふ譯では無く或種類の如きは少量なれば反つて植物に必要とせられるけれどもそれが餘りに多量になつて始めて有害となるのである前に説明した如く植物の生長には一定の成分を必要とし此成分は多くの場合或種化合物即ち鹽類の形として吸收せられるから量が餘りに多くならざる限り有効無害である然し其量が多くなれば有害となるから害の有無は其量の多少によつて決せられる是を人類の生活に例へて見ると氷菓子とか酒精等でも少量なれば營養の價値は認められるけれども其量を過すと大害を醸すと同樣である

果物箱詰法

トメトー箱詰に付て

加州野菜果實標準法中に各種果實トメトー類を箱詰として市場に出す場合箱の底と上の果物トメトーの數が約同數なるべしとの規定がある是は勿論上面丈に立派な物を並べて華客を欺く手段を改める爲めであるが今市場に出るトメトー類に時々此規則を破る農夫があるとの報知がある然しラッグバックスに入れて出すには上にあるクレートが邪魔になつて同數のパックが不可能であるから上層のトメトー數が下層より縦横一列づゝ少なく共規則違反とはならない通常の側の眞直な箱にトメトーを正式にパックするには必ず上層下層のトメトー數を約同一にして法律に問れざらん事を希望する

ヘチマの研究

尺寛

先づ語源から考へると、此語は蠻語(外國語)らしい、日本にては糸瓜といふ、これをつめてとうりと呼ぶ、ヘチマの語は歐羅巴にもし、多分印度、マレー諸嶋の俗語なるべし英語の字典には絲瓜、スコワシの類を混じ總稱してゴード(GOURD)といふ上田万年博士はこれにタオル・ゴード(TOWRL GOURD)の名を付す或人曰くヘチマは屁妻なりぶらりぶらりと遊んでゐる妻なるが故に「屁の如き妻」といふ所から得たる名なりと信ずるに足らぬ事なり若し「屁妻」ありとせば「屁痴男」また多からん、予を以て言はしむればヘツマは瓢簞の如くヘチマは夕顔の如し、女は締めくゝりありて男は締りなし、ヘチマにして始めて中庸を得たりさ

アスパラ害蟲

▼驅除法研究中

河下地方アスパラガス耕地で一種の甲虫が可なりに害を與へ年々蔓延の徴候がある此害虫は普通アスパラガスビートルと稱し千八百五十六年頃から東部で大害を醸して耕作者を苦しめて居つたが近年加州で可なりな害を與へ何等か驅除法を講ずる必要が起つた加州農務課の一技師は今其驅除法を頻りに研究中で今までの經過は甚だ良好であるが未だ詳細の方法は發表せられて無い

金曜日の桑港市場 (十月八日)

栗が出荷

▲葡萄が強氣

▲栗の走り 本日本年度始めての栗が出荷されたるが出荷者はウインタースの出口氏なり一封度廿仙より廿五仙の値を唱へたるが例年に比し好値なりと

▲葡萄が上向 出荷減少したる爲め葡萄が一般に上向を示せり殊にトーケイなども好値とされ降雨の爲め品質を痛められたるものもありと

▲苺保合 本日苺がトラックで六十一チエスト、エキスプレス十八チエスト、鐵道廿五チエスト出荷あり値段は保合の態ブラックベリは品質惡しく安値のものもあり

▲瓜が下向 キヤンタロープは其後も未熟のもの多く弱氣を唱へたり

▲アニオン過剩 昨今アニオンが又候過剩となり値段は下落したり

▲トメトー強氣 降雨の爲め出荷減少したるに依りトメトーは幾分強氣を呼べり

▲鷄卵保合 騰貴續けの鷄卵は遂に八十九仙臺にて停まり前日より半仙の弱氣を示せり

果物類

▲栗 一封度廿仙より二十五仙
▲柿 二弗より二弗廿五仙
▲石榴 一箱一弗半より二弗半小箱七十五仙より一弗半
▲グレープ トーケー一クレート二弗より二弗半ラクボックス三弗より三弗廿五仙タムソン シードレス一クレート二弗廿五仙より二弗五十仙マスカット一クレート二弗より二弗二十五仙ラグボックス三弗より三弗廿五仙ブラックプリンス一クレート二弗より二弗廿五仙マラガ一クレート二弗より二弗廿五仙ホワイト及ブラックコニチヨン一クレート二弗より二弗廿五仙イサベラ一クレート一弗七十五仙より二弗
▲ペーヤ 一箱三弗半より四弗バートレット四弗より五弗五ヒックルス一箱一弗より一弗半
▲プラム 一箱普通もの一弗廿五仙より一弗七十五仙上等二弗より二弗半
▲ピーチ 小箱一弗二十五仙より一弗七十五仙ラグ箱二弗より三弗オレゴンヒチ一箱二弗
▲フイッグ 一クレート黒箱一弗半より一弗七十五仙白一弗より一弗半
▲オリーブ 一封度八仙より九仙上等十一仙
▲オレンヂ 箱バレンシヤ五弗より六弗半上等七弗より七弗半
▲レモン 一弗半より二弗半上等三弗七十五仙
▲グレープフルーツ 一箱三弗より三弗半上等三弗半より四弗
▲アップル 總て四テヤ、ベルフラワー一弗五十仙より一弗七十五仙四テヤ半一弗より一弗廿五仙レッド一弗七十五仙より二弗四テヤ半一弗半より一弗七十五仙グランベスチン二弗より二弗五十仙四テヤ二分一一弗七十五仙より二弗アレキサンダー一弗二十五仙より二弗ホワイトペーメンス一弗七十五仙より二弗廿五仙ニユタンピピン四テヤ一弗七十五仙より二弗四テヤ半一弗廿五仙
▲ストロベリー 氷村及サンタクララ郡等の沿岸地方一ドロア籠バスケットもの八十五仙より一弗標準バスケットもの一弗より一弗廿五仙キヤナリ行一封度十四仙
▲ラスベリ 一ドロア(十二オンス入)七十五仙より八五仙(八オンス入)七十五仙
▲ブラックベリ 一ドロア六十仙より七十五仙

野菜類

▲新コーン 一袋二弗半より四弗
▲マスクメロン 一クレート(大型)一弗半より二弗七十五仙ペルシヤン一弗―二弗
▲ハネデユ 一クレート一弗―一弗廿五仙
▲カサバ 一クレート五十仙より七十五仙
▲キヤンタロープ 一クレートポーラット産ポニース六十仙より一弗スタンダード一弗より一弗五十仙フラット五□仙
▲ウオーターメロン 一封度一仙半より二仙
▲シトロンメロン 一クレート一弗より一弗半上等二弗
▲スクワシ ラグボックス七十五仙より一弗廿五仙ラブスコワシ一箱一弗廿五仙
▲南瓜 一袋一弗より一弗廿五仙
▲ポテト 一袋二弗より二弗二十五仙上等二弗半より二弗七十五仙
▲甘諸 一パウンド三仙半
▲ペツパー 一箱七十五仙より一弗チリーラが七十五仙より一弗
▲胡瓜 一箱五十仙―七十五仙上等一弗
▲エグプラント ラグボックス五十仙より九十仙リービングストン七十五仙より一弗
▲キヤロット 一袋一弗五十仙―二弗
▲ガーリック 一封度七仙より八仙
▲トメト 一箱キヤナリ六十仙より七十五仙卓子用一弗二十五仙より一弗七十五仙
▲アニオン 一袋黄七十五仙より九十仙上等一弗白九十仙―一弗半
▲ネギ 一箱一弗半より上等二弗
▲ピース 一パウンド六仙上等十二仙半
▲ビンズ 一パウンドストリングビンズ五仙より七仙上等十仙ライマビンズ十一仙より十二仙
▲セロリ 一クレートホワイト四弗エロー四弗より四弗半
▲レタス 小クレート一弗半より二弗大クレート三弗より三弗半
▲キヤベーヂ 一封度一仙一ダズン卅仙
▲スピニチ 一クレート一弗より一弗二十五仙
▲バター 六十六仙半
▲鷄卵 上等八十九仙エキストラプレッツ六十六仙アンダサイズ五十四仙半

古本=買度 桑港パイン街六一四(伊藤) 電話 カーネー四四一八 (御來談は午前中)

貴下は

太平洋岸で最も確實な事業の一部の持主となる事が出來る

THE ROGERS UNA-DRIVE MOTOR TRUCK

"A Pull on Every Wheel"

(四輪全部にエンヂンが働く)

製造所

ロヂャース・ウナ・ドライブ・モーター・ツラック會社

工場 加州サンベニルル　事務所 桑港ハースト・ビルデング八一四

モーター・ツラックは貨物運搬の問題を解決す
モーター・ツラックは多くの製造問題を解決す
河海と汽車との直接の連絡は最早重大問題とならず
數年前迄交通不便にて耕作されざる土地はツラックにて今日充分に耕作さる
當會社は道の惡しき處を充分の荷物を積み運搬するに向くツラックの需要増加に對し充分調査を遂げたり
合衆國政府は田舍の近い處の運搬にモーター・ツラックを用うる事を勸めたり是現在の貨物激増を防ぐ爲なり
ロヂャー・ウナ・ドライブモーター・ツラックは此仕事をなすに適す

會社資本金百萬弗
內五十萬弗は七分の優先株
內五十萬弗は普通株
此內七分の優先株六萬株を募集す
一株前拂込金一弗
此株式は普通の收入税を徴集されず
申込次第詳細通知すべし
同會社株式日本人部總代理店同會社製ツラック日本人部總代理店(輸出共)

丹原組

Tanbara-Gumi

Rms. 202-213-214-215 Postal Telegraph Bldg. San Francisco, Calif.

土曜安賣 ROTARY GROCERY Fillmore St. Cor. O'Farrell. 十月九日

純ケーン砂糖	五斤	、六五仙
カーネーションミルク一罐 又はリビー (數に限りあり)		、一二
クリスコ三斤八五仙	六斤	一、六五
M.J.B.珈琲五斤罐入一斤、四五		
同 三斤入	一斤	、四六
同 一斤入	一斤	、四八
ロータリー印珈琲	一斤	、五〇
ガテマラ珈琲斤三五仙	三斤	一、〇〇
メーゾラ油半ギヤロン		一、一五
同 一ギヤロン		二、二五
デルモンテ・ソース	五罐	、二五
メープル・ケツアプ	一瓶	、一五
最上パパンク・ポテト八斤		、二五
上ベルフラワ・アップル箱		一、五〇

カーネーション油	一瓶	、三五仙
プリムローズ油	大瓶	、五五
キヤムベル・スープ罐十一仙	六罐	、六五
デルモンテ・ピー罐二〇仙	六罐	一、一〇
ヨーロー・ピー罐一二仙	六罐	、六八
カロール・コーン罐一五仙	六罐	、八五
ラロサ・コーン罐二〇仙	六罐	一、一〇
マンテカ・ビンズ罐一五仙	六罐	、八五
デルモンテ・ビーツ罐一五仙	六罐	、八五
同 ピーチ一斤二五仙	二斤	、四五
同 アップリカット一斤二五仙	二斤	、四五

フキルモアー街一四五二—五八 ロータリー・グロサリー オッファレール街角

クリスタル石鹼	三個	、二〇仙
オールドファッション石鹼	六個	、二五
リノックス石鹼	二本	、〇九
バーモリーブ石鹼	三個	、二三
ポスト・トーステー	二ッ	、二五
キロッグ・コーンフレークス	二ッ	、二五
パッフド・ホイート	二ッ	、二五
パッフド・ライス	二ッ	、三一
クリーム、ホイート	一包	、二七
クユーカーオーツ	同	、一三

煙草

ダーハム	一包	八仙
ラッキーストライキ		、一六
チエスタフキールド		、一六
キヤメル		、一六
イムペリアル		、一六
オルドミル		、一六
スパー		、一六
ラッキーストライキ	二個	、二七
プリンスアルバート	同	、二七
ベルベット	同	、二七
タキシード	同	、二七
ユニオンリーダー	同	、二七

懸値無 金剛石時計貴金屬寶石總て最上等品 フキルモアー(ポスト角) シグマンド・マーグ寶石店 FILLMORE AT POST

東京大阪朝日新聞 取次 桑港 知新堂

名醫紹介 私子供全身腫れ多數の醫師に見放されたる處支那人女醫師の施藥にて全治す同醫住所は桑港スタクトン街一〇四九なり スタクトン街山陽商會內 松岡

洗濯所用諸機械 ワシヤア、リンガ、ストウブ、ベルト一切新及古物安價販賣 チヨン・ダブリウ・リード 1459 Mission St. S.F. Tel. Market 778

食料品雜貨 ます金商店 ポスト街一七九九 電話ウエスト四二七一

鮮魚 食料品一切 海陸商會 桑港ラグナ街一六二一 電話ウエスト四五〇五

◎註文せよ◎ 大正九年度の新種子物を 代價表は御申越次第無代進呈 種子物原産地加州ホリスター 山中丈吉(園主) Hollister Seed Co. Rt. 2 Box 112 Hollister, Calif. U.S.A.

英語教授 親愛なる日本人諸君の成功は實用的英語習得にあり要は「キー」著者且十數年經驗あり懇切教授す Miss. C. RYAN. Tel. West 6125 3103 Clay St., S.F. (Near Baker)

肥料 有効確實 各種販賣 桑港 小林商會

美以英和學校 ▲卅年前創立▲特に女學部設置 ▲敎師白人四名日本人二名あり ▲ヴエール博士は日本語に精通 ▲完備せる美以教會寄宿舍を接す 桑港パイン街一三五九

KILLEFER NEW AUTOMATIC DOUBLE DISC HARROW

キルフアー新自動ダブル・ディスク・ハロー

是は今日販賣さるゝ物の中最も改良を施せるツラクターディスクにて最上等の鋼鐵を用ゐ特にツラクター用に製造せりシーツの下より動き自動的なるを以て梃を動かす必要なし果樹園用として此上なく深く這入り地表にある植物を切り去るに適する程重く挺なければ木に當らず弊店には五呎より十呎まで各サイズ持ち合せあり

HARVIE HARDWARE & IMPLEMENT CO. 920-922 12th St. Sacramento DISTRIBUTORS.

最新刊

倉田百三 歌はぬ人 一、五〇
樋口麗陽 日米戰爭未來記 一、五〇
長尾知美 育兒及小兒病 演講 一、六〇
水上瀧太郎 亞米利加記念帖 二、五〇
英語研究會 速成應用 英語自習寶鑑 三、〇〇
肥田春充 活力増進 強壓微動術 三、五〇
ションペンハウエル原著 處世哲學 二、八〇
開原榮 無敵の米國 二、五〇
七大專門大家述 婦人衞生編 二、〇〇

羅府東一街二二五〇 電六二五九五 博文堂 250 E. 1st. St, Los Angeles, Calif.

米國一流のモデルを集めたる ▲美術裸體寫眞▼

▼大形—九吋に七吋 六百種 郵税共一枚一弗六枚五弗 右美術寫眞一枚及小形見本印刷進呈 (通信は日本文又は英文)

ORIENTAL ART STUDIO 9 W. 98th St. New York City.

桑港櫻府電氣鐵道 桑港埠頭キールートより櫻府行 櫻府より桑港行毎二時間發車す San Francisco-Sacramento R. R. Key Route Ferry, Phone Sutter 9323

さー火事! ジャント云ふたら自動消火器を持て

三德商會

東洋及米國一手販賣元 桑港ウエブスター街一五六二

○發賣以來日猶淺きに拘らず九月卅日迄に廿五軒餘の代理店を設け、一千餘個の該消火器を各地方に積出したるは世人が我自動消火器の効力優秀なるを認められたる確證と存じます、就ては左に使用法、空氣の入れ方、空氣の分量をチヤッキバルヴ無くして計る法及各地方代理販賣者の芳名を記して使用者諸彥の御參考に供します

一、使用法 必すネヂを下にして壁にかけ何時にても、取り得る樣に置く事、使用の場合必ずネヂを下にして右手で(ネヂを左にネジ廻はせば空氣の力で藥液がとび出るのを火に向つて發射する事

二、空氣の入れ方 消火器をサカサマにして(ネヂの方を上にすること)ネヂを開け空氣を出しつくしフォード自動車の完全なポンプを消火器の器口(藥の出る口)に堅くネジ込み、十三回ポンプアップすれば七十五乃至八十ボンドの空氣がはいる(但ポンプする時上下を一回と數へる)消火器の空氣は常に六十ボンドから八十ボンド迄を必要とする

三、空氣の分量 をチヤッキバルヴ無くして計る法 通常ネヂをチヨットあけて藥が勢よく飛び出せばよい 消火器をサカサマにして兩膝の間に挾み、エーヤゲージ(空氣計算器)を器口へ眞直にシッカリ右手で押しあて(さ左手でネヂを徐に開けばよい、此時七十五ボンドを示せば消火器の空氣は正味八十ボンド入つて居ります

自動消火器各地代理販賣者

王府、麥嶺、亞市 池田貴道
サンノゼ總代理 沖田商店
パロアルト・佐藤商店
サンマテオ 高橋商店
ワツソンビル 神垣商店
サリナス 遠藤商店
ホリスター 中央貿易商店
ベンリン 大力商會
フロリン 谷川商店
コルサ 中川商店
メリスビル、中村商會
ローダイ 宮島商店
ダイニユーバ 山本商店
ホルト 新藤商店
バカビル A・B・C商會
スタクトン 錦帶堂
ツレシー 碇商店
ザクラメント 藤江金藏
フレスノ 伊逢商店
ウヲーナツグローヴ友園商店
ファーラー 坂本小六
バリーヤ アイ國重
デルレー 松尾商店
セルマ 伊藤商店
パイゼリア 野澤商店

▲販賣御希望の方は御申越順により御相談に應じます

皮膚の病氣は一時的療法では駄目

勿論一時的の療法で恐ろしい皮膚の治療を滿足するなれば膏藥でも塗り藥でも滿足出來る譯なれば此種の療法は眞に病氣を治す目的に叶はぬ逐に大事に到るものなり然し乍ら若し皮膚から眞に免るゝ事を欲するなら要するに其根本から治病する事が必要なり濕疹皮疹泡疹炎症其他の皮膚病より眞に免るゝ爲には先づ其原因をなす病毒を血液中より驅除する事が肝要にて此目的に對しSSS程効果あるもの今日迄見當らず此藥は昔から知れたるものにて血液中に達し眞のツラブルを除くSSSは到る處の藥店にて販賣するが故に直ちに本日より用ゐられよ、始めよりの病狀を記し申込次第無料にて治療手續を返事す。(五)

Chief Medical Adoviser 821 Swift Laboratory Atlanta Ga.

加州公認 株式會社 保證投資 有價證券賣買仲介

▲日本政府發行國公債五分利▲國庫債券千圓券▲鐵道債券五分利千圓券▲日本政府發行國支拂附外債千圓券▲日本興業銀行債券六分利附千圓券▲日本政府發行英貨公債四分半利第一、第二 第二四分利 百磅券 右英貨公債は皆バークレー第一ナショナル銀行保證附 百磅券

確實有利現物賣出

公債 (値段及說明書進呈)

Guaranty Investment Co. (Inc.) 309 First National Bank Bldg. P. O. Box 74 Berkeley, Calif. Tel. Berkeley, 2377

▲値段が安くて一番よく利く藥!

身體強壯妙藥

特別代價 一弗廿五仙 (六十錠入) 郵税不用

神經衰弱や老衰其他色々な原因から心身の弱つて居る人は必ず本劑を用ゐられよ

▲一手販賣、公認=(桑港)=鈴木事務所 K. S. SUZUKI'S OFFICE 1731 BUCHANAN ST, S. F., CALIF

HOTEL FUJII 423 Maynard Ave. Seattle Wash.

妻君御親族御朋輩御呼寄の際は前以て御通知被下候へば上陸に關し必要なる事項早速御返事可申上候

シャトル市メーナード街四二三 煉瓦造支館二棟タコマ及キヤマ旅館各二百室最新設

藤井旅館

和洋食料品雜貨商 株式會社 新亞細亞商會 桑港ポスト街一六五九 電話フイルモア二七九三

The Japanese American News

ENGLISH SUPPLEMENT
SATURDAY, OCTOBER 9, 1920 No. 7511

Amending the Gentlemen's Agreement.

IT IS reported in dispatches from Washington, said an editorial in Japanese, published in The Japanese American News last Sunday, that there is a possibility of the gentlemen's agreement between the United States and Japan being amended. The editorial continued:

We cannot, of course, say what is the nature of the proposed amendment, but it seems safe to assume that, on account of the propositions being advanced in California, negotiations of some sort are progressing in Washington. The Japanese government through its ambassador, Baron Shidehara, has made representations to the Washington government that it would make considerable concessions as regards immigrants. But this overture is made on the basis of guarantees by the United States of proper treatment of the Japanese in America. We are inclined to believe the United States government thoroughly understands the situation.

As for the gentlemen's agreement, its contents never have been made public. The public, however, somehow seems to know what are the conditions of the agreement. It is known that the Japanese government agreed to restrict Japanese immigration to the United States and to put an absolute stop to immigration of Japanese laborers to the United States.

Exceptions are students, merchants, travelers, churchmen, artists and other professionals. Japanese residing in the United States may at any time call their parents, wives and children to this country, or they may accompany them here when returning from a visit to their own country. Even the laborer who has resided in this country for a certain period is permitted entrance upon returning from a visit to Japan. Farmers who have settled in a certain locality and are conducting their own business may bring to the United States a private teacher for their children, house servant or maid.

Californians in the anti-Japanese camp do not appear to be familiar with the provisions of the agreement, for they always are making false charges that Japan has broken its pact and is sending immigrants to this country. But the federal government knows that the Japanese government has religiously kept its promise.

Without having inside information regarding the exchange demands of the two governments, we hope for a continuance of the re-entrance clause. The professional classes should not be barred by any agreement. The reported concession on the part of the Japanese government may mean that agricultural immigrants, servants and maids are to be denied entry into this country.

According to the Washington dispatch absolute prohibition of Japanese immigration also is being advocated. If this refers to laborers it may be stated that to this day the Japanese government has refused to issue passports to any such. Having restricted and prohibited the issuance of passports to Japanese subjects, the United States has respect for the honor of the Japanese nation. Now respect should be shown to the honor of the United States and a declaration should be made of whatever agreement is reached.

The Japanese proposal, we think, is that their subjects in the United States shall be accorded equal treatment with the subjects of other nations. Equal treatment, of course, is a big problem. It involves ownership of land, the right of naturalization and the abolition of all partial treatment. It is not an easy problem to solve.

The Japanese should be guaranteed permanent protection in the rights they now are enjoying. This is the least that can be asked of the United States government and also the least that will be acceptable to the Japanese government.

We feel that an adjustment along the lines mentioned could be borne by both parties. As Mr. Bainbridge Colby, Secretary of State, has said, such a solution would be satisfactory to the United States government, to California and to the government of Japan.

Facts vs. Agitators' Assertions.

THE Rev. Dr. James L. Gordon, pastor of the First Congregational Church of San Francisco, discussing the objections raised against the Japanese in California, advances the following twelve points in an article in the Commercial Chronicle of the Pacific Northwest of September 25:

1st. The Japanese is said to be an inferior race. Is it not odd that we Americans should speak of "an inferior race?" We are a people composed of all races, and we spend annually millions of dollars through our missionary organizations to evangelize just such races as we are dubbing "inferior." One cannot help think that there is a great deal of insincerity in our modern religious life. We spare neither money nor labor in evangelizing such races as the Chinese and the Japanese, but when they are found, in numbers by no means alarming, in our own country we dub them "inferior." There is no nation or civilization on the earth today which cannot make a valuable contribution to our American experiment in democracy.

2nd. The theory has been propagated that the Japanese have come here to get rich, that they are mercenary, that wealth is their prime motive. As though this Japanese ambition were something totally un-American, something unholy, and therefore unknown among us! Were not the "forty-niners" attracted to California by an aspiration for wealth? Did they come here because they admired the scenery, the golden poppy, the Golden Gate, the golden sunset? Strange that an American should criticize anyone for wanting to acquire wealth when we are the richest nation in the world and are making money now more rapidly than any other people.

3rd. The Japanese are denounced for their desire to acquire real estate, to purchase farms. Only yesterday we condemned them for sending money to Japan instead of investing it here. To tell them not to buy land is to tell them not to work. The real foundation of home, of stable life, of wholesome human existence, is land. The Japanese who have come to these shores in compliance with our immigration laws, are here to stay. Is it the part of wisdom or justice to drive them from the soil to which they are naturally attached, and thus condemn them to a state of life which denies them both happiness and progress? Many of these Japanese have children who are American citizens and who are going to remain among us as members of our body politic. For the future welfare of the children it should be the right and duty of all parents to make due provision, and the surest provision one can make for his offspring is to secure land.

4th. It is complained that the Japanese have large families and that the Japanese population in California is growing so rapidly as to endanger the safeguard of American civilization. I wonder where the Japanese get the idea of having a large family. Perhaps they have read the dangerous literature which has been produced by the pen of the late Theodore Roosevelt, pleading for large families. The real truth is that the increase in Japanese families in the United States is not out of proportion with the increase of normal American families.

5th. It is complained that the Japanese women, wives of Japanese farmers, work in the fields. What a complaint! I lived in Canada when Russian immigrants were arriving in the Dominion. Thousands of these settled in Western Canada and brought with them the peculiar habits and customs of their race. In almost every case the wife was to be found toiling with the husband out in the field. Canadians regarded this as a beautiful example of co-operation in family life. Go to the South, particularly Texas, and you find the wives of European immigrants working in the field not only for Americans but also for Japanese farmers. In Ireland, in Germany, in France, in Russia, in fact in all parts of Europe, women working side by side with the men on the farms is a common sight. Here in America married women are working in offices, in shops, in factories for a living, and I fail to see any difference between working indoors and working outdoors.

6th. They say that the Japanese works for less than the American. Nobody works for less these days. The Japanese is too shrewd to work in America for less than the amount paid to an efficient American. The reason why a great many American employers prefer Japanese labor to American labor is not because Japanese labor is cheaper, but because the Japanese as a laborer is easier to get along with than the American laborer.

7th. The Japanese is condemned because he insists upon sending his children to school. I presume that the reason why the Japanese children are so anxious to go to our schools is because someone has discovered that they are "godless." There must be something strangely wrong with our American school system when it attracts the favorable attention of the foreigner. Time was when we used to sing of "A Little Red Schoolhouse on the Hilltop and No Saloon in the Valley." But really, when such foreign immigrants as the Japanese are anxious to become students in our public schools we imagine there must be something wrong with our whole school system. Strange that a little Japanese should be so eager to get a public school education, and stranger still that any American should be willing to permit the presence of children of any race in our country without the benefits of the public school.

8th. It is asserted, in a sense of reproach, that the Japanese want to associate with our best people, that they desire to get into "good society," and that they are even willing to enter into a blend of bloods so far as bringing Japan and America together in the most vital of social relations. This idea, entertained by successful Americans, that most people have an all-consuming desire to get into their social class, is the most amusing feature of our young and rapidly developing republic. There is nothing more astonishing in the history of civilization than the complacent spirit of the Anglo-Saxon. Of all nations the Anglo-Saxon is the most contented, complacent, self-centered, self-satisfied and self-sufficient.

9th. We are told that Japanese are "deep." They conceal their thoughts. They speak in English but think in Japanese. If this be a Japanese characteristic, it is, of course, absolutely un-American. An American blurts out at once all his personal history. In the first hour of his social introduction to you you get the main facts about his family and business, his successes and ambitions. An American physician said to me within half an hour after we had met, "Doctor, my income is $20,000. If you doubt it there are my books." I could imagine no Japanese being so open. I am not sure that an American, doing business in Japan and expressing with difficulty his American thoughts in the Japanese language, might not be regarded in Japan as deep, secretive and insincere.

10th. The Japanese evade the law, they say. They have a peculiar way of interpreting the law to their own advantage. No matter how you may make the law or work the law, they have some shrewd way of dodging and evading and accomplishing under one act that which is prohibited by another act. All this may or may not be true. But to our American ears this criticism sounds strange. We wonder how the little Japanese ever discovered the idea of playing with the law. Did he discover it from the liquor traffic of bygone days, or did he learn it from the legal transactions of some great corporations in our republic—this art of playing with the law, in order to gain financial advantages for one's self? Where could the Japanese have acquired this art? Is it not possible that they have secured their training in the matter of evading the law by too close acquaintance with our American methods? Is it not remarkable that the things for which we criticize the Japanese are the very things which we regard as cute, clever, bright and brilliant if accomplished by our own business men?

11th. We criticize the Japanese because they desire to become full-fledged American citizens. They are not willing to remain forever as aliens in America. They want to become American citizens and to have their American-born children enjoy all the rights and share all the duties of American citizenship. Strange that we should criticize in the Japanese that which we demand of every other race coming to this country.

12th. Alarmists would have us believe that the Asiatics will overrun the country. A friend asked me: "Doctor, would you want to see California overrun by Asiatics?" Listen to me, my friends: the Japanese have been in this country for sixty years. In that period foreign immigrants to the United States of America have totaled 27,000,000, and of these 27,000,000 only 101,000 have come from Japan. The dreaded destruction of America by the yellow race is mathematically absurd.

WHEN THIS OLD WORLD WAS YOUNG.

(Continued from Last Saturday.)

PRINCE YAMATO, youngest son of King Keiko, was the Bonny Prince Charlie of Old Japan. His father sent him forth to slay a number of troublesome brigands. Before departing the prince prayed at the shrines of Ise, begging that Ama-terasu, the Sun Goddess, bless his enterprise.

Now, Prince Yamato's aunt was high priestess of one of the Ise temples, and to her he confided the task imposed upon him by his father. Much pleased to hear the news, the good lady presented a rich silk robe to her nephew. It would be sure to bring him luck, she said, and perhaps it would be of service to him later on.

Returning to the palace Prince Yamato took leave of his father. He left the court accompanied by his wife, the Princess Ototachibana, and a number of tried and trusted followers, and proceeded to the southern island of Kiushiu, where the brigands infested the land. So rough and impassable was the country that the prince saw at a glance he must devise some cunning plan to take the enemy unawares.

Bidding the Princess Ototachibana bring him the rich silk robe presented by his aunt, he put it on, let his hair down, stuck a comb in it and adorned himself with jewels. A mirror assured him his disguise was perfect and that he made a handsome woman.

Thus attired the prince entered the tent of the enemy, where Kumaso and Takeru were sitting. At that very moment they were discussing the young prince and his determination to exterminate their band

Looking up and seeing a beautiful woman approaching, Kumaso was so delighted that he bade the disguised prince pour him some wine at once. Affecting feminine shyness, walking with mincing steps and glancing out of the corner of his eyes with all the timidity of a maiden, Yamato complied.

Kumaso drank more wine than was good for him. He drank again and again just for the pleasure it afforded him to see this lovely creature pouring the wine.

Finally Kumaso became drunk. Prince Yamato flung down the decanter, whipped out his dagger and stabbed the brigand chieftain to death.

When he saw what fate had befallen his brother, Takeru attempted to escape but the prince leapt upon him. Again the dagger flashed and Takeru fell to the earth.

"Stay your hand a moment!" gasped the dying man. "Who are you and whence come you? Until now I have thought my brother and I were the strongest men in the kingdom. Now I see I have been mistaken."

"I am Yamato," replied the prince. "I am the son of the king, who bade me kill such rebels as you!"

"Allow me to bestow a new name upon you," the brigand said politely. "Henceforth you shall be called Yamato Take, because you are the bravest man in all the land."

Takeru fell back dead.

(Continued next Saturday.)

CONFUCIANISMS.

IF THE scholar be not grave he will not call forth any veneration and his learning will not be solid. Hold faithfulness and sincerity as first principles. Have no friends not equal to yourself. When you have faults, do not fear to abandon them.

* * *

WHEN agreements are made according to what is right, what is spoken can be made good. When respect is shown according to what is proper, one keeps far from shame and disgrace. When the parties upon whom a man leans are proper persons to be intimate with, he can make them his guides and masters.

* * *

HE WHO aims to be a man of complete virtue, in his food does not seek to gratify his appetite, nor in his dwelling-place does he seek the appliances of ease; he is earnest in what he is doing, and careful in his speech; he frequents the company of men of principle that he may be rectified: such a person may be said indeed to love to learn.

* * *

FINE WORDS and an insinuating appearance are seldom associated with true virtue.

BUSHIDO.

By DR. INAZO NITOBE.

CHAPTER XIII.—(Continued)

WE cannot share the admiration of the Europeans for their roses, which lack the simplicity of our flower. Then, too, the thorns which are hidden beneath the sweetness of the rose, the tenacity with which she clings to life, as though loth or afraid to die rather than drop untimely, preferring to rot on her stem; her showy colors and heavy odors—all these are traits so unlike our flower, which carries no dagger or poison under its beauty, which is ever ready to depart life at the call of nature, whose colors are never gorgeous, and whose light fragrance never palls.

Beauty of color and of form is limited in its showing; it is a fixed quality of existence, whereas fragrance is volatile, ethereal as the breathing of life. So in all religious ceremonies frankincense and myrrh play a prominent part. There is something spirituelle in redolence. When the delicious perfume of the *sakura* quickens the morning air, as the sun in its course rises to illumine first the isles of the Far East, few sensations are more serenely exhilirating than to inhale, as it were, the very breath of beauteous day.

When the Creator himself is pictured as making new resolutions in his heart upon smelling a sweet savor (Gen. VIII, 21), is it any wonder that the sweet-smelling season of the cherry blossom should call forth the whole nation from their little habitations? Blame them not, if for the time their limbs forget their toil and moil and their hearts their pangs and sorrows. Their brief pleasure ended, they return to their daily tasks with new strength and new resolutions. Thus in ways more than one is the sakura the flower of the nation.

Is, then, this flower, so sweet and evanescent, blown whithersoever the wind listeth, and, shedding a puff of perfume, ready to vanish forever, is this flower the type of the Yamato spirit? Is the Soul of Japan so frailly mortal?

CHAPTER XIV.

IS BUSHIDO still alive, or has Western civilization, in its march through the land, already wiped out every trace of its ancient discipline?

It were a sad thing if a nation's soul could die so fast. That were a poor soul that could succumb so easily to extraneous influences. The aggregate of psychological elements which constitute a national character is as tenacious as the "irreducible elements of species, of the fins of fish, of the beak of the bird, of the tooth of the carnivorous animal."

In his recent book, full of shallow asserverations, M. LeBon says: "The discoveries due to the intelligence are the common patrimony of humanity; qualities or defects of character constiture the exclusive patrimony of each people: they are the firm rock which the waters must wash day by day for centuries, before they can wear away even its external asperities."

These are strong words and would be highly worth pondering over, provided there were qualities and defects of character which *constitute the exclusive patrimony* of each people. Schematizing theories of this sort had been advanced long before LeBon began to write his book, and they were exploded long ago by Theodore Waitz and Hugh Murray.

In studying the various virtues instilled by Bushido, we have drawn upon European sources for comparison and illustration, and we have seen that no one quality of character was its *exclusive* patrimony. It is true the aggregate of moral qualities presents a quite unique aspect. It is this aggregate which Emerson names a "compound result into which every great force enters as an ingredient." But instead of making it, as LeBon does, an exclusive patrimony of a race or people, the Concord philosopher calls it "an element which unites the most forcible persons of every country, makes them intelligible and agreeable to each other; and is somewhat so precise that it is at once felt if an individual lack the Masonic sign."

The character which Bushido stamped on our nation and on the samurai in particular cannot be said to form "an irreducible element of species," but nevertheless as to the vitality which it retains there is no doubt. Were Bushido a mere physical force, the momentum it has gained in the last seven hundred years could not stop so abruptly. Where it is transmitted only by heredity its influence must be immensely widespread. Just think, as M. Cheysson, a French economist, has calculated, that supposing there be three generations in a century, "each of us would have in his veins the blood of at least twenty millions of the people living in the year 1000 A. D." The merest peasant that grubs the soil, "bowed by the weight of centuries," has in his veins the blood of ages, and is thus a brother to us as much as "to the ox."

BUSHIDO'S GREAT POWER.

An unconscious and irresistible power, Bushido has been moving the nation and individuals. It was an honest confession of the race when Yoshido Shoin, one of the most brilliant pioneers of modern Japan, wrote on the eve of his execution the following stanza:

"Full well I knew this course must end in death;
It was Yamato spirit urged me on
To dare whate'er betide."

Unformulated, Bushido was and still is the animating spirit, the motor force of our country.

Mr. Ransome says that "there are three distinct Japans in existence side by side today—the old, which has not wholly died out; the new, hardly yet born except in spirit, and the transition, passing now through its most critical throes." While this is very true in most respects, and particularly as regards tangible and concrete institutions, the statement, as applied to fundamental ethical notions, requires some modification; for Bushido, the maker and product of Old Japan, is still the guiding principle of the transition and will prove the formative force of the new era.

The great statesmen who steered the ship of our state through the hurricane of the Restoration and the whirlpool of national rejuvenation, were men who knew no other moral teaching than the Precepts of Knighthood. Some writers have already tried to prove that the Christian missionaries contributed an appreciable quota to the making of New Japan. I would fain render honor to whom honor is due; but this honor can hardly be accorded to the good missionaries. More fitting it will be to their profession to stick to the scriptural injunction of preferring one another in honor than to advance a claim in which they have no proofs to back them. For myself, I believe that Christian missionaries are doing great things for Japan—in the domain of education, and especially of moral education: only, the mysterious though not the less certain working of the spirit is still hidden in divine secrecy. Whatever they do is still of indirect effect.

No, as yet Christian missions have effected but little visible in moulding the character of New Japan. No, it was Bushido, pure and simple, that urged us on for weal or woe. Open the biographies of the makers of Modern Japan—of Sakuma, of Saigo, of Okubo, of Kido, not to mention the reminiscences of living men such as Ito, Okuma, Itagaki, etc.—and you will find that it was under the impetus of samuraihood that they thought and wrought.

When Mr. Henry Norman declared, after his study and observation of the Far East, that only the respect in which Japan differed from other oriental despotisms lay in "the ruling influence among her people of the strictest, loftiest and the most punctilious codes of honor that man has ever devised," he touched the mainspring which has made New Japan what she is and which will make her what she is destined to be.

(To be Continued.)

Winners of Prize Contest.

HEREWITH are published the winners of the first and second prizes in The Japanese American News' contest for its boy and girl readers under 21 years of age and born in the United States. A condition of the contest was that all boys and girls submitting essays must be in actual attendance at school.

Following is a list of the prize winners:

First Prize, $10—Shizuko Nagai, 1631½ Park street, Alameda, Cal.

Second Prize, $5—Kikue Ukai, 16 years old, 2203 Eighty-first avenue, Oakland, Cal.; grade 9A, Elmhurst Junior High School.

One Dollar Prizes—Nobuko Wakimoto, 19 years old, Modesto High School; Cisco Nojima, 16 years old, 218 Lava street, Idaho Falls, Idaho, pupil in Idaho Falls High School; Flora Mitsu Imai, 15 years old, 1950 Bush street, San Francisco, pupil in Lowell High School; Ernest Fujimoto, 17 years old, 2 San Juan road, Watsonville, Cal., pupil in Watsonville High School; Dorothy Fumiko Endo, 15 years old, Mountain View, Cal., pupil in Mountain View Union High School.

Honorable Mention—Frances Kido, 12 years old, La Junta, Cal., pupil in Grand Valley School; Joseph Yuzuru Sano, 19 years old, 1763 Sutter street, San Francisco; Yoshi Yarita, 19 years old, 506 O street, Sacramento, Cal., pupil in Heald's Business College; Katsusaburo Kawahara, 19 years old, San Jose, Cal., pupil in Longfellow School; Hide Sasaki, 11 years old, 1617 Laguna street, San Francisco, pupil in Redding School; Setsu Sasaki, 9 years old, same address, B third grade, Redding School, and Chizu Yamashita, 12 years old, 670 Nineteenth street, Oakland, pupil in Lafayette School.

The essays of other prize winners will be published next Saturday.

* * *

Why I Want to Become an American Citizen.

By SHIZUKO NAGAI.

(First Prize.)

WE HAVE learned in our history about the early immigrants of America. Many familiies have come from the far off lands across the sea, to live in America. Some came to America in search of gold; others came because life was too hard in the Old World.

Those early immigrants were hard-working people. They toiled from dawn to dusk on their small farms.

After many years of hard labor, many became rich. Many families that became rich went back to their old homes in the Old World. Some went back, never to return again.

To those early immigrants of America the Old World was dear. They prospered in America but to them their native land where they have left behind them their friends and relatives, could never be wholly forgotten. They loved their mother country.

Today our parents who have come from across the sea and living here under similar conditions, have that same, same yearning for their native land. To them their native land is their home.

We have our parents, our friends and everything that is dear to us right here in America. We have American friends. We were friends ever since we were born. To us, that were born here, America is our country. We know no other land,

My friends will become an American citizens. My friends can justly own America as their country. I want to have a country too.

I want to become an American citizen because I want America to be my country.

* * *

Why I Want to Become an American Citizen.

By KIKUE UKAI.

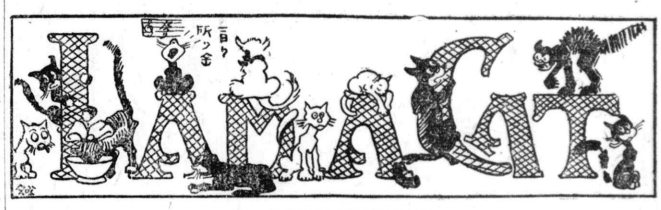
(Second Prize.)

I HAVE never before tried to analyze my reasons for desiring American citizenship, for I have always been taught to regard myself as such by my various teachers. However, since a most worthy occasion has risen, I will attempt, to the best of my ability, do so.

In the first place, I was born here in California, and know no other home; I have no country but America, and no flag but the Stars and Stripes. It is the most natural thing in the world that I should love and honor the land of my birth, and desire the privilege of citizenship which will give me every right given others. I want to become an American citizen for many reasons. Chief among them would be because this, America, is really my country, through my birth; because everything I love is here; because the Japanese language, customs, and so forth, are strangers to me, for I speak English fluently, and always have, while my knowledge of the Japanese language is limited; because all my life my best friends have been among the American people, and constant association with them has taught me to love and honor my country; and lastly, because I desire greatly to have a part in the politics of the nation, state, city and county.

I have every right to American citizenship—a moral right of which I should not be deprived of because my parents were not fortunate(?) enough to be born elsewhere than in Japan.

It is beyond my power to express in words more adequately than this, my desire for American citizenship, but I know that, whatever the outcome of the November state referendum, or the nature of the laws enacted by Congress regarding we Japanese-American boys and girls, I will always hold for the country in which I was fortunate enough to be born in, the greatest love and respect which I am capable of giving. But, oh, I would be very proud if I had the right to say, wherever I might go, "I am an American."



By SOSEKI NATSUME.

(Translated by a Japanese Schoolboy.)

DURING this fatal struggle I uncovered second truth: All cleatures intuitively predicts the suitableness or unsuitability of all the things. Now I have discovered two truthses but I could experience nothing better. The teeth are squeezed by the Mochi that I feel awful misery as if teeths are being pulled out of head. Then thoughts occurred to me that if I do not manage to sever this strange mass through as quick as it is possible there is such a great danger of coming into the kitchin of despised maid.

Further the sweet singing racket of children also was estopped by that time, so they surely will dash presently into kitchen. I became so velly nervous. I am all nerve centered. I moved every moveable part of body not excruding my all-powerful tails and ear, but gosh hang it there was no result whatever.

Well, second thought so clearly indicates of course that movement of caudal appendage are ears has nothing whatever at all to do with the relation of solving this here problem as it is wholly and entirely limited to the teeth. First, I used my fourfoot and rubbed it around mouths, but there continued no effect. Then I uses the left fourfoots and I scrutched around month. This things might have appeared to rank outsiders that I was performing some sort of mystic magic, but a lot these magics help in saving me.

Then I manage to use the combined fourfoot, managing to stand on both hind ones like man. When I stand on back feet I could experience sensation of cat. Well, Whether I looked more like the mans or less like the cats, I could not at all mind, only thing I could do was somehow in some manner or way save myself. So the endless struggles were going on and frequently I was so compretely dazzled that was almost deposited on back. Thus I circumnavigate kitchens.

That action were something akin to dancing so even I myselfs were greatly supplised to find my own ability in this regards. Whereupon I discovers third truths: Whensoever any one faced the great dangers one can be permitted to do the things which generally speaking was to be thought as impossible, which is called Heavenly Grace.

With this here Heavenlike Grace I have been struggling so hard but no use. Then suddens I heard the apploaching of the foot-prints from out of parlor into kitchum. Great heavens, sezzi, it were awful to be seen by somebody or anybody at all of family.

The more fiercer struggle follow, but the footprints they keep coming near and closer. It's a great regret that Heavenly Grace was not closely enough approached to me. I am uncovered by childrun. The kid yelp loud like big voice, articurating: "Oh, looky, my cat-dance, eating of Mochi!" The maid heard of this screeching. The maids again ejacurating high pitched woices, "What?" and she approach into kitchen. There came out also the wives of the kind master and observe: "What funny cat, oh my! What are you doing, Mr. Cat?"

And even the indulgent masters, what was also ensconsed in study, came within kitchen and shot out this phrase: "Oh, you big foolish!"

(Still more yet.)

ロスアンゼルス (七日)

南加の繁榮は日本人の努力

▲タイムス紙掲載

カスパートバウエルなる親日米人は當市の排日紙なるタイムス紙に寄書して南加州の發展は日本人の在住せる爲めなりとて大に推賞せる一文を發表したるが同文の内容は加州に於ける一部排日者は在米日本人をして全然農業に從事する能はざらしめんとする一般投票案を編み出し來る十一月二日を以て決せんとするが之れ加州人自ら自身の首を縊るの愚を演ずるものにて日本人は加州の爲に利益ありと雖も些の害をも認めざるものにて目下南加州が米國最大の野菜市場たるに至れるは其氣候の温良なると共に天才的の日本人の努力に基くものにて當市及び附近の市場に新鮮にして而かも安價なる野菜の供給さるゝは何れも日本人在住の爲にして

▲南加農業の發達に貢献せるは實に日本人の右に出づるものなく此の忠實なる日本人は食料及び野菜類を廉價に供給するを以て東部人士は此の良氣候と安價なる生活に憧憬して移住し遂に今日の大繁榮を見るに至れるものなるが其他日本人が加州に於て米作に成功し帝國平原に於てキヤンタロープを名産たらしむる等白人が自ら手を染めざるものに向つて最善の努力をなし來れるは加州人の了知せる處なるべく或は日本人多くを之れをなし得べしとの説をなすものあらんが日本人に代るに白人を以てせば野菜の如き高價にて而かも貧弱なるものを得るの外なく實際南加州に於ては有利無害にして斯く眞面目なる日本人を排斥せんとするの不合理なるものなりと大に日本人の爲め推賞至れり盡せるの觀あり

問題の女ピナト

デントンバーより探偵と共に其の夫及び小娘と共に當市に來り檢事局に監禁中なりしピート夫人は其後調査の進行するも未だ何等の確證擧らず代言人は拘等拘禁の理由なしとジヤクソン判事法廷に訴へ出で遂に許可されしが更に檢事局に對し代言人は招引狀もなくデンバーより伴ひ來れるものなれば不法にして誘拐罪を以て告發の價値ありと聲明したりと因に同行せる夫に對しピート夫人は離婚訴訟提出中なるが本事件突發せるを以てこれを願ひ下げ大に助力を乞ふに至り同伴せるものなりと

●排日運動委員 羅府郡反亞協會にては愈よ一般投票も十一月二日と迫れるを以て是非共其目的を貫徹すべく市内に三十名

外に三十五名の委員を推薦して運動方法を講ずることなり九日委員會を開催して決定する由なるが少なく共贊成者五十万を得るならんと大に意氣込みつゝあり

羅日參事員會

羅府日本人會にては五日夜參事員會を開き明年度米國赤十字會員を十一月中大擧募集するに付援助を依頼し來れるを以てこれを如何んと諮りしに一同之れに贊し次に時局問題に關しては消極的方法を取る可く過日決定せるも中央會内保護協會が積極的に行ふ事となりしを以て羅府日本人會も之れと同一歩調を取る事とし其の支部を設けて大々的活動する事としたり

●南大四十年祭 六日南加大學にては開校四十年の記念祭を執行しレオナード・ビショップは種々なる説を引證して生徒一同に對して訓辭する處ありホーバード大學總長は同校の沿革に就て述べ自らも現職に就きしより二十年を經過せりとて大に懷舊談をなしたりと

●來羅の人々 京都高島屋呉服店飯田新三郎川崎造船所員山谷新一郎名古屋高等商業學校々長市村芳樹の諸氏は六日來羅兩三日間滯在の筈

●パナマ丸と船客 大阪商船會社のカナダ丸及びタコマ丸は共に百數十名を乘せ出帆したるが十一月初旬パナマ丸來着するを以て此際至急申込ざれば船室は百二十なれば滿員となるべしと

●開拓會社 エルパソの平原開拓會社は日米人合資にて成立し資金十五萬弗にて活動中なるが當市に於ける株式申込所は第一街六〇六穗岐山氏なりと

●在留民大會 サンルイスオビスポ日本人會にては來る十日在留民大會を開き時局對應策を講ずる由にて中央日會よりも數名援助の爲め出張す

●シ博士歡迎會 米國リフォームド敎會總幹事シエイファー博士の歡迎會を十日午後五時よりリフォームド敎會に於て開催すべしと

●鮪鑵詰終業 サンピドロ港及びロングビーチ方面に於ける二十餘軒の鮪鑵詰會社は來る本月十五日を以て漁業家との鮪取引契約滿期となるを以て本年のシーズンは同日を以て最終とし鮪鑵詰を終る筈なるが鰯鑵詰は東部市場不況の影響を受け採算立たざる模樣にて何れの會社も作業を見合し居れりと

●ギヤスタンク爆發 第十一街とサンタフヰ角の瓦斯會社小タンクは修繕中爆發して一名は十呎以上他に投げ出され周圍にありし人々も約四十名ありしが危く難を避けたり

●第一學園寄附 今回同園を卒業せる千代子は金五弗菅野氏は子供入學東修として五弗何れも第一學園に寄附したり

●大金を掏らる 東一街六一八に住む増田某は第五街とブロードウエーに於て掏

フレスノ (七日)

中加聯合青年會

▲聯合祝賀親睦會開催

既報の如く本月二日午後二時よりフレスノ日本人會々議室に於て中加聯合青年會を開催す當日の出席代表者は

▲パリア青年會松井豐藏、加藤信一▲組合敎會青年會 大嶋昇、川崎彦平▲リードレー青年會 佐々木傳六、嘉戸治太郎▲ポールス青年會 山田憲一、星子寅太▲ファラー青年會 中川清八、白川時夫▲セルマ青年會 谷口久楠▲佛敎青年會 羽栗行道、逸見梅吉▲美以敎會青年會 宇堀作十郎、眞鍋頼一

以上諸氏にして席定まるや議長及び書記は今後當番幹事に於て之を爲す事に決定し星子寅太氏議長席に眞鍋頼一氏書記席に着き議事に入る先づ本年七月十日開催の青年會代表者會に於て決定したる聯合大運動會は都合に依り當分延期し次に聯合祝賀親睦會を催すべく實行委員を擧げ當番幹事を協議して準備をすることし議長指命にて組合敎會、佛敎會、パリア各青年會を實行委員に推擧し了つて左記規約を議決す

規約

聯絡各青年會は一の青年會に於て除名されたる青年會員は其聯絡の精神を尊重し他の青年會に於て入會せしめざること但し他の青年會が理由書を添へ當番幹事に提出し當番幹事に於て入會せしむるも差支なしと認めたる場合は更に當番幹事より各聯絡青年會に通知す又除名せられたる會員にして當該青年會の處置に就て不滿なりと認めたる時は前同樣理由書を添へ當番幹事に申出づる事を得

右の外青年會は聯絡費用として一ケ年金十弗を負擔す可きものとし又秋期修養方法として講習及び講演會、辯士交換演説會等の方法を當番幹事に於て適當に定むること尚排日對應策として左記の決議をなし眞鍋、羽栗、川崎三氏を實行委員に擧げたり

聯絡青年會は刻下の時局に鑑み日本人會と聯絡し排日對應策としてパンフレットの配附及び英語演説會を開きて日本人問題の眞義を米人に諒解せしむること

祝賀親睦會

十月六日午後七時より布市美以敎會に於て別項聯合青年會の決議に基き聯合祝賀親睦委員會を開催す當夜の出席者は

赤司、羽栗、新田、淵脇、星子、疋田、眞鍋、川崎

諸氏にして十一月七日ファラー日本人ホールに於て聯合祝賀親睦會を左記順序に於て擧行す可く委員は各青年會より一名宛選出し接待委員長星子寅太、餘興委員長赤司早苗、親睦會司會者眞鍋頼一諸氏等に、又案内狀は其際各地團體へ發送すると協議決定したり

正午より野球▽午後二時開會▽各地青年會代表者の三分間演説

尚當日祝賀親睦會の經費として各青年會より金十弗宛出費の事

●フレスノ學園英語教師 フレスノ學園英語夜學校は本月四日より開校したるが敎師はミス・レクター及びミス・スタクトンなりと

●出國證の紛失 高橋儀吉なる六十二歳の老人はタコマ丸にて出國證及び乘船切符を紛失せる爲め乘船不能の處を安原氏保證にて稅關及び船長は之れを許可したりと

●ユーエス洋食店寄附 同店は村上氏讓受以來滿一ケ年を經過したるを以て第一學園に二十弗第二第三及びシスタースホームに各十弗宛を寄附したり

●佛敎婦人會例會 十日午後二時より布市佛敎會に於て婦人例會を催す由

●佛敎會落成式順序 布市佛敎會は來る十一月十三、十四兩日同敎會堂の新築落成式を擧行すべきが其順序は左の如しと

十三日午前九時第一式開會▲午後一時特別説敎▲午後二時角力▲午後七時餘興日本ホール、入佛式十四日午前九時第一式▲午後二時學校生徒運動會ずリムヒツク競技▲午後七時餘興 日本ホール

●英文證明 パリア廣島縣藤川重太郎氏二男武夫▲フレスノ附近金瀨吾平氏長男薰二十月八日春洋丸にて渡米に付フレスノ日會にて英文證明を交附

●出生 布市廣島縣三島太一郎氏三女時美十月五日▲布市山口縣山本佐一氏三男巖十月四日出生母子共に健全

●ダイニューバ青年會通報 前田寛次郎、手島ドクター、金子幸太郎、大野柳之丞諸氏はダイニューバ日本人青年會の顧問に推薦したる事なしと通報あり

●島内主任轉宅 當支社島内主任は布市エフ街組合敎會寄宿舎より同市デー街四四五に轉宅

●佛敎會英語説敎 布市佛敎會に於ては十日午後一時よりカービー氏の英語説敎あれば青年の來聽を歡迎すと

オークランド

在王同胞二千

▲男三人に女一人の割合

王府日會は去る八月より人口調査を開始し登録事務は近日中に完成の豫定なるが尾崎幹事の作成したる表は左の如し

職業	男	女	家族男	家族女
農業家	四四一	一	二七	四四
園藝家	一〇七	一	九二	一五九
家事勞働	一	一	一	一
造船勞働	二	一	一	一
飲食及嗜好品製造	二	一	三	五
和洋服製造	一二	一	一	一
菓子屋	二	一	二	二
肉點店	五六	一	三六	一
食料店	二	一	一	三
文房店	一	一	一〇	一一
化粧店	八	一	二	一
美術店	一	一	六	一〇
古物商	三	一	四	三
靴工業	四八	一	三〇	四九
洗濯業	一〇五	五二	六五	九六
染洗業	五	一	一	五
理髮業	五	一	一二	一五
湯屋	八	二一	一	三
大工業	二	一	一	一
印刷業	三	一	一	一
工場勞働	二	一	三	二
其他	五	一	一	五
桂庵	一	一	一	一
銀行員	一一	一	五	一三
代理業	四	一	一	二
旅館業	五	一	二	三
料理店	一二	一	六	一七
玉場	一	一	一	一
行商	五	一	七	八
他商業	一九	一	八	一六
鐵道勞働	一〇	一	一	一
運轉手	一一	一	一	七
運送業	二	一	二	二
宗教家	四	一	三	五
敎師	一	一	一	一
醫師	五	一	一	一
齒科醫	五	一	五	五
產婆	一	四	二	一
新聞記者	四	一	一	一
通辯	一	一	一	五
寫眞業	三	一	一	二
其他技藝	一	一	一	一
家庭勞働	三六	三八	三八	六一
其他勞働	七八	一	五	三五
大學生	二	一一	一	一
合計	七〇六	一〇五	三七〇	六五〇
總數	一八三一人			

右の統計以外洩れたる者も尠からざる見込みにて大約王府の同胞人口は二千餘にて男女の數は三對一の割合である

●原田博士講演 昨日入港の春洋丸にて渡米したる日米關係委員會の顧問使節同志社長原田助博士を聘し王府獨立敎會に於て明日午前十一時より聯合大説敎會開催の由午後八時より麥嶺第一組合敎會に於て米人間への説敎あり而して來週火曜日には灣東組合派聯合の牧師會に於て講演ある由

●時局討論會 昨日王府ホテルに於て合衆國裁判所コンミッショナー・ヘーテン氏と在日會の神崎氏と來る十一月一般投票に附せらる可き排日法案の討論會ありたり

●寄附 亞市在住橋本喜代治亞市南美以敎會に十五弗寄附

ニユウキヤツスル (七日)

●日會々員募集 今般プラサ郡內同胞が一致して日本人會を盛んならしむる趣旨の下に會員募集を爲しつゝあれば奮つて入會されたしと

●新入會者 山崎常吉▲上田小太郎▲枇杷木増市▲梶村徳次▲大林直右衛門▲奥山傳助▲橋爪常孝▲新宅千代太郎▲山本富士美▲松田小平の諸氏日會へ入會

●賭博撲滅運動と日會 過日來救世軍の來援を得て開始された該運動につきて一部の間には誤解ありて恰も青年達專斷の輕擧かの如くに推量すれど此の運動の早晚開始さるべきは八月以來屢々評議員會の問題となりしが偶々此の度幹部の募金其の他の事故に忙殺されつゝある間に青年團が蹶起せしは寧ろ喜ぶべき現象にして日會として滿腔の熱誠を以て贊成するなりと周幹事は語れり

●篤志寄附 稻葉道助氏此の度歸國記念として金四弗日會へ寄附せり

●赤十字社員大會 來る十二日午後二時小學校に於て赤十字社員大會を開き領事館より長谷川田中兩氏之に出席せらるゝ筈なれば會員は勿論新に加入せんとする方々の來會を望むと

●伊達商店チユリー大安賣 布市カーン街一四二三伊達商店にては本業の男女洋服並に裁縫ミシン販賣の傍ら斬新流行の各種貴金屬寶石類『チユリー物一切』を驚く可き勉强にて安値販賣す

教師招聘

日本人學園の教授を爲す希望者は履歴書を添へて御申込を乞ふ

パレア日本人學園

P. O. Box 145 Parlir Calif.

變り易き時候の用意

依頼し得べき家庭藥を用うれば高い醫師の拂ひを減じ得べし駭風邪熱に罹る時數多の家庭は純粹で阿片を含まぬオレーハネーターを用う此藥は見られよ。床や氣候が變ると私は風邪に罹ります此時フオレーハネーターを四回用ゐ全治す他に是種の藥無し

H. B. Miller. R. 10 Woostre. O.

到る處の藥店で販賣す(一〇の七)

新刊物到着

奥野他見男作 高い山から谷そこ見れば 九五
大學出の兵隊さん 四〇
娘もの云ふた好きとゆた 九五
たへその宙返りたなか逆立ち 一、八〇
三國一の花嫁は 八五
君とねようか五千石とろか 九五
赤い顏して女優を待てば 二、〇〇
他見男傑作集 一、五〇
浪六作 うらと表
天眼通 前、中、後 一、八〇
川徳 前、後 一、五〇
浪六全集 始、終 一、七〇
皮肉全集 一、五〇
我五十年 一、〇〇
俠骨三人男 二、五〇
浮世の穴 一、八〇
裸體の人間 一、三〇
浪六書翰 一、八〇
大町桂月著 一、〇〇
朝鮮遊記 一、五〇
杖の跡 一、三〇
日本研究 二、三〇
少年史傳日本百傑 一、八〇
書翰十二ケ月 一、五〇
日本外史 一、〇〇
自然の詩集 一、五〇
源氏と平氏 一、〇〇
黒岩涙香譯作
島の娘
谷名士の著書毎月ドシ〳〵到着
賣藥最近到着
朝鮮人參 正眞 二弗乃至三弗
支那六神丸 正眞 九〇
熊の膽 正眞
大正琴三種二〇、〇〇 三〇、〇〇
四、〇〇 卷脚三種
乃至一、七五 五、〇〇
正金銀行 送預金取扱 無手數料
住友

錦帶堂藥舖
237 S. El Dorado St. Stockton
KIN TAI DRUG
電話一六七一
御手紙取扱至極丁寧
直輸入商スタクトン市

▲會社並に後見人に關する諸相談
▲一般會計及び帳簿の整理
商學士 増田恒藏
949 F St., Fresno, Calif.

自動車保險
勞働者保險
布市 山見坂事務所

飛行を學べ
九月十五日より新學期開始講義モーター教授チヤンバー少佐デツカード大尉にて教授料六百弗完全なる保證教授をす日本人學生六名在學近々日本人飛行倶樂部を設立
王府ホテル・オークランド內 ヅーランド飛行學校

稚子募集廣告
來る十一月十三十四兩日本會落成式及入佛式擧行に就き稚子を募集す
年齡六歲以上男女を問はず締切期限十月廿日中、冠、上衣袴、花等は本會規定普通衣類は隨意
フレスノ佛教會

江湖諸彥
○皮膚病專門男女症診信は總て日本文にて宜敷候通察時間自午前十時至午後九時
醫學博士 劉日初
桑港グラント街五〇二
Dr. LOU YIT-CHO

ピー種 アメリカン ウオンダー
新種請合 廉價賣出し
堀榮記
P. O. Box 52, Pismo Calif.

▼病者の福音▲
◎調劑確實
弊店には加州大學出身の其道には永年の經驗ある白人藥劑師が居りまして確實迅速に調劑の御求めに應じます
◎白人醫招聘
何時でも御指定のドクターを招き親切叮寧に通譯を致します日米兩國語に熟達せる通譯も居りますから
◎日本賣藥
豫防及豫防と除害を驅除する日本賣藥一切其他滋養劑化粧品等も備付けてあります
◎書籍雜誌類
小說、講談、落語、史傳、諸雜誌も賣り捌き居りますから地方の御方は郵便で御注文下さい
加州公認 濱井回春堂藥店
櫻府第三街千二百〇六番
電話メーン二九二二ゼー
KAISHUNDO & CO.
1206-3rd St., Sacramento, Calif.

在留同胞一般に檄す
來る十一月二日に行はるべき排日一般土地法案は吾人在留同胞生活の根柢を覆滅せんとする殘忍酷薄なる非人道的法案也
吾人は米國憲法の精神に基き吾人の生存と自由擁護との爲去る九月廿三日本會理事會に於て本會名稱の下に農家保護協會を特設せり
同運動方法並に寄附事務は本會聯絡各地日本人會を通じて運行すべし
光榮ある我同胞諸君奮つて來り投ぜよ
九月二十五日
南加中央日本人會

皆さんお待かねの新米賣出し
電話王府一二〇二
及王府七九六
灣東商會

同胞醫院
(武田醫院跡)
王府アース街六三六
ドクトル 梁川健雄
電話レーキサイド四六四七

橋本病院
加州公認
215-6th Street Oakland, Calif.
入院隨意
大小手術及各種注射の需めに應ず
元帝國大學病院勤務
ドクトル 橋本秀治
王府第六街二一五
(電話)レーキサイド二〇九〇

灣東醫院
(灣東保險代診跡)
王府第八街二六八
内科一般 金澤醫學士 翁久二
外科一般 金澤醫學士 家田耕三
電話オークランド九五四九

王府 寫眞館
王府第六街二二 電王府一二六三
◎引延◎進呈 駒井寫眞館
王府十三街四六七 電話王府二二二
アートクラフト寫眞館
幸若 芳須 櫻井久太郎
王府第七街三七七 電話王府七四〇
◎引延◎進呈 重富寫眞館
王府マヂソン街七一六 電話レーキサイド四二四五
井手產院

1711 Telg. St., Oakland Tel. Oak. 5258
王府第廿街五一〇テレグラフ近
妊產婦收容設備完全
加州公認 堀田產院
電話オークランド一六六四
醫學博士 齒科醫師(王府)
王府第八街五一八
矢幡富藏
(電話)オークランド二九八七、八八一九
王府第十五街五〇六番 ブラザビルデング五〇一、五〇二
公認齒科醫 犬飼猛
電話王府三三六〇 住宅王府八二〇七
本間修二
王府第八街四二二日本館內
電話王府六六七一、住宅第八街一〇五
美洲樓
日本人の支那料理
王府第八街四一五 電北京一一四 藤田
公認 武田產婆
電話レーキサイド五三一五
公認產婆 山崎シモ
王府第六街壹七〇
電話レーキサイド四五三六
羅府支社
羅府東一街二二四五 電話
小川時計店
公認代理 紐育生命
電話一三一一八
424½ E. 7th St., L. A. Calif.
松永多平
羅府 オークルホテル
ドクトル 渡邊準哉
加州公認 產婆
電話ブロードウエー六六七〇
佐藤琴子
東一街三三一 醫師 須々木榮
電話一五〇五九 自宅一九一五四
齋藤齒科醫院
東一街六〇六中(南海屋內)電話六六七二〇

モネタ原醫院
羅府エクイテブル銀行三階 ドクトル平田篤次
電話六四九〇四 自宅ベモント六〇九八
東第四街四五九番 ドクトル宮田雄次郎
電話六一二一六 ブロードウエー二一九六
南加日本病院
Tel. 15427 605 Turner St., L. A.
唐木保藏
醫學博士
東第一街三一四 電話一〇三二一〇
3171/2 E. First St., L. A. Calif.
月藤齒科醫院
公認 倉田齒科醫院
ミカドホテル內 電話六一九〇八
產婦人科內外科
古澤醫院
羅府クエーントン街一一七 電話六六三三六
加州公認
江田產院
布市イ街五六二 電話四〇七八J
自動車の備附あり
產婆 江田スヱノ
松本兄弟書店
1535 Kern St., Fresno, Cal.
倉谷鍼灸治療所
布市エフ街一〇三三 電話一九五三W
加州公認 三浦產院
布市イ街一〇二五 電話三八二四ム
布市勸業銀行
株式會社
▲保管箱貸料は一ケ年三弗以上▲ケ年は四分▲正金銀行預送金は滿船出帆前三日までに御申込が確かです▲營業時間日曜祭日の外毎日午前九時より午後三時土曜午前限
日本送金一百弗以上無手數料小口當座通帳無利息▲定期一
M&T 家具店
日本人間唯一の家具店
布市ター街八五一
電話一八四七 五九六
1507 Kern St., Fresno, Cal.
中加產業社
土地賣買クラブ賣買借地一般農具取次勞働契約保險通辯契約書作製法律事務ベーパーツレー
布市カーン街一五〇七 Tel. 5233
フレスノ病院
村山三十五郎
村尾鍊志
ドクトル 株式會社 布市イー街九三五 電話メーン一三三
御菓子調進所 柏屋
御祝儀御法事御見舞御土產用
布市カーン街一四三〇
部谷書店
922 F St., Fresno, Cal.
布市
小此木病院
フレスノ
Tel. Main 1339
735 F St., Fresno Calif.
藤森治療所
内務省免許鍼灸醫 マツサージ
布市イー街一〇二五
電話三八二四ム
支那料理 中央樓
御料理◎新鮮なる材料にて調理◎九月一日より開業◎日本人諸君歡迎
布市エフ街九五〇一五二
布市支社
布市エフ街九四九
電話三〇九四七
深澤齒科醫院
338½ E. First St. Tel. A3178
高等 川福 御食事所
羅府ウエリングトン街一〇九半
電話 一五八五七
小林診察所
羅府南サンピドロ街一一五半
電話ホーム一二
太平洋沿岸魚市場
サンピドロ港 電話二六六 九〇七
Pacific Coast Fish Co., P. O. Box 266 San Pedro, Cal.
Sato's Book Store
341½ E. First St., Los Angeles, Ca.
新刊書籍到着
東一街三百四十一半
佐藤書店
電話一九六〇九 住宅六二八二
別府溫泉 湯の花
自宅溫泉 入浴原料
大阪商會
羅府東二街三〇五 Daikoku Co. 305 E 2nd st., L. A. Cal.
代價一箱六回分一弗 米國一手販賣所
篠原眼科院
107½ East 1st. St., L. A. Calif.
Telephon 15745 Res. 65137
溫泉
萬病に特効あるホワイトポイントラヂユーム
羅府サンピドロ港ホワイト・ポイント
主人 田上兄弟
P. O. Box 975 San Pedro, Calif.
養老保險
ニューヨーク生命保險會社 本部公認代理
小野助四郎
632 Maple Ave., Los Angeles, Cal.
電話エフ五一七三
セントラル魚市場
サンピドロ港 電話八三四
CENTRAL FISH CO P. O. Box 516 San Pedro, Cal.
フレスノ公認齒科醫
關直太郎
布市イー街一〇二五
白山紀一

サクラメント(八日)

在留民大會

▲花で飾られた新城
▲會館で憂士の熱辯
＝聽衆三百の盛況＝

●プラサ郡 十月七日の夜の空は墨流せし如き闇ながら新築の木目匂ひ未だ新らしきニューキャッスル日本人ホールに萬燈輝き渡り屋內に廻らせる星條の鯨幕と天上に懸れる酸漿提灯と卓上に飾りし香花かたみに相映じて華やかであつたニューキャッスル、ペンリン、ルーミスの三青年會主催なるプラサ郡

▲在留民時局 大會と云ふので午後七時の開會前より狹き谷間支那街續きのホール前は自動車で輻輳し入場者は老若男女合はせて三百名が程蓋し會館新設以來此種會合で空前の盛況と謳はれた須市、河下、櫻府より十數名の應援辯士の行くあり又た五日前より同地方に出陣して賭博撲滅運動に從事せる

▲救世軍々人 の法鼓の音勇ましく響き渡り之れに和して歌ふ幼年幼女の聲も朗らかに聞かれたペンリンの手島吉之丞氏司會にて左の諸氏交々起つて排日問題と同胞の覺悟に關し或は賭博の弊風と其矯正策若しくは青年の覺悟など千紫萬紅其思ふところに隨つて熱辯を振はれたが殆んど四時間に亘んとせし長時間を聽衆は辯士に優る熱心を以て拍手喝采しながら傾聽したり

當夜出演辯士の顔振れ左の如し

▲プラサ日會長沖野次▲ニューキャッスル永田義一▲ルーミス宮原▲櫻府日米竹田▲須市賭博撲滅同盟會竹葉▲須市日會參事員小村▲ウォーナツグロープ賭撲期成同盟會簗瀨▲須市新世界大橋▲ウ村今井牧師▲須市日會長鈴木庸▲ルーミス日會代表眞壁信藏▲須市日米及川▲救世軍指揮官小林大尉

右演説後に酒井藤太郎氏の應援者諸氏に對する挨拶ありプラサ在留民大會の名義にて左の決議文を通過して散會した

本大會は在留同胞社會改善の爲めに活動しつゝあるプラサ郡賭博撲滅期成同盟會の趣旨を賛し最善の應援をなす

●妻子の渡米 昨年歸國せし市內時計店主降矢甚之助氏のミセス並小供同伴にて八日着の春洋丸にて入港せるにより降矢氏出迎の爲め昨日出桑▲デルパソの農業家岡山縣人文屋竹次郎氏の妻女イク同船にて着米す

●小林救世軍大尉歸桑 プラサ郡の賭博撲滅運動の爲め同地方に滯留中なりし救世軍の小林政助大尉は八日の拂曉歸桑他の諸士官兵士は本日中引上げの由

●フロリン葡萄終了期 フロリン地方の葡萄出荷は今後二週間位にて全部終了すべしと

●來櫻 プラサ郡在留民大會へ出席の途上鈴木須市日會理事長竹葉同盟會幹事、小村峰太郎、新世界須市支社主任大橋、日米同地支社主任及川諸氏來櫻

●懸賞尋人 去る八月十三日ウォーナツグロープより手に手を携へて駈落したる男女あり男は原籍愛知縣寶部郡七寶村出身竹田生一(三十三)女は同縣同郡同村安達きやう(二十三)の人妻五十弗の懸賞にて當市愛知縣人會の名にて潜伏所搜索中なり

●自動車使用人入用 ウォーナツグロープの愛知商會にては自動車使用人一名雇入れたきにより希望者は直接照會あれと

須市の發展

スタクトン(七日)

▲市債百七十六万弗 一昨日より昨朝にかけ市役員の豫選と共に須市發展の諸計畫を實現すべき市債發行に關する一般投票を行ひたるが市民の進歩的氣魄は遂に百七十六万弗の市債を發行することとなれり是大須市實現の第一歩なり計畫の重なるものは市公會堂の六十萬弗オーデトリアムの六十萬弗サニタリー下水十三万五千弗、ストーム下水三十二萬五千弗、リフトブリッヂ十萬弗等なるが茲に云ふリフトブリッヂとはモルモンチャンネルの上に架橋工事を爲すものなり

●農業者統計 當地方在留農業者に關する統計如次

▲農業者數一〇〇四▲農場數五〇七家族數男三六八女八六七計一二三四にして總人口二三九內獨身農業者四三〇▲無妻者家族一八▲妻帶農業者五五六▲主婦數五五六▲子供數男三六八女三一一計六七九

●日曜の野球戰 來十日日曜日は午前十時よりオークパークにてコーストリーグの桑港軍對櫻府軍もの試合午後はスペリー對シャスレーの黒人團の試合ある筈なり

●應援隊出發 既報の如くプラサ郡青年團の大活動を助く可く當市より鈴木日會理事竹場同盟幹事小村氏大橋、及川兩新聞支社主任並に救世軍の尾崎大尉ウォーナツグローヴの簗瀨同盟幹事の七名は鈴木氏の自動車にて本日正午當市出發ニューキャッスルに向へり

●學生會臨時總會 來十日夜須市倶樂部に於て臨時總會を催し今後の活動方針に付具體的方法を協議すべしと

●新電話 當市西マーケット街須市蓄音機店吉田氏方新電話番號は一七七一なりと

カタループ(六日)

●損害賠償裁判 ビズモ在住江藤、飯島氏等は昨年契約に反し不良なるビー種を送付し來り數千弗の損害を招きたる理由の下に東部某種物會社を相手取り損害賠償を申請したる結果之れが裁判の爲め一昨日出羅したり地主も證人として同道したる由

●臨時總會 某事件に付き某々氏等率先し會員五十餘名の記名を勸誘しつゝあれば近く日本人會の臨時總會を開催するに至るべしとされど又一方には某氏の運動に對して面白く思はざる會員もあるやに聞く

●出張 長老教會甲賀牧師は十月九日サンルイス市に赴き同地日本人ホールに於て午後八時より『恩寵の神』と題し講演する由

●通信餘滴 最近同胞間に起つた問題に關して思ひ當るとは一般の通弊として男女間の道德節操と云ふ觀念が歐米人のそれに比して大いに劣るゐるを思ふ▲別して男子が婦人に對する思想や態度の飽き足らない所が多い▲殊に沿岸に於ける同胞社會生活に赤裸々として家庭や社會に多々迷惑を及ぼしてる事實である▲是は歸する所互に人格を尊重する道義的感念の缺乏から由來してるのである▲爾來日本民族性の基調たる儒佛の教理や倫理に於て此點に不徹底の所あるく泰西思想に刺戟されて故國でを見逃すとか出來ない▲最近漸は新婦人が醒めて革新運動に努力してるが何時泰西のそれの如の婦人の位置が向上されるやら▲在米同胞間に於て隨分此際改善すべき點も多いが男子は大いに婦人の人格を己れの如く尊重すべきだと思ふ▲家庭にて兒童をして母の人格を尊重せしめ敬慕し權威を持たしむるには何うしても男子が婦人を敬愛して示さねばならぬ。決して機械視し奴隷視するを許さぬ▲民族發展向上の搖籃たる家庭に於ける婦人の地位が一段の進歩改善を見ずんば我が民族の將來は樂觀し難い。男女同胞の責任の自覺を切望する

サナリス(六日)

●時局講演會 排日土地法案一般投票期日切迫し在留同胞間には一種の不安を感じ居る者少なからざるが今回在米日本人會は加州中央農會と協力し在留同胞間時局に關する諸問題に就き疑義を有する者又は土地所有者、借地農業者間には時機を失せず準備し置く必要事項等に就て來る十二日午後七時より日本人ホールに於て講演會開催矢半田貞三氏、松岡亮作氏等の講演ある筈なれば地方農業家は奮て出席せられたしと

●昨日の強震 昨日午前十一時頃千九〇六年の大地震後に於ける強震ありて時計の停止したるもの多數ありたるが別に損害はなかりき

●今朝の降雨 雨模樣もなかりし昨夕本朝來は近來になき強風後降雨となれり地方農繁期の候にてビンス、ヘイ等には多少の損害はあらんが砂糖大根には好都合なるべし雨量は半吋より七十五位ありたり

借地權讓渡したし

▲百五十英町のビンズ畑
▲場所 ナイス、ランデング附近肥沃の土地
▲馬四九頭、三十馬力のキャタピラ其他農具一切附屬
▲リース年限は尚ほ二ヶ年餘
◎現經營者歸國の爲め上記一切の權利を讓渡したし希望者は左記へ照會被下度候 佐藤
1218½-4th St., Sacramento, Cal.

沖田醫院 電話二九六〇W
公認醫院開業 小生儀今般名出醫院を辭し診察所設置する迄當分の內左記住宅にて一般診療に從事可致候
櫻府エヌ街四〇八 ドクトル・オブ・メデシン 沖田楠之進
出張所ウォナツグローブ三田湯二階(日曜午後一時より六時迄)

自轉車 歸國御土產
堅牢で ピーヤス アイバ ジョンソン 乘心地よし
日本への歸國土產には自轉車が第一 此の二つは路道の惡い日本では大いに交通の便利になります
エヌルム商會 1214-4th St., Sacramento

御禮廣告 歸國私儀中は留守宅の家族一同々御世話に相成難有奉謝候今回最近便にて再渡米致し歸櫻仕候間此段御挨拶申上候
九月廿七日 櫻府第四街一四〇〇 武田彌惣吉

貸地廣告 土地百餘英町グレン及び野菜の栽培に適す、場所ウエスタリーン、シャツプより二哩西、希望によりては農具一切貸與又は讓渡すべし
原本治作 R. 4 Box 1437 Sacramento, Cal.

宮崎醫院 電話メーン四二六九W
公認醫院開業 アイオワ州立醫科大學出身 ドクトル・オブ・メデシン 宮崎秀太郎
診察時間 午前九時より午後八時迄
櫻府第四街千三百二十三番半

移轉廣告 弊館今回業務擴張の爲め九月十五日より左記へ移轉し萬事に刷新を加へ顧客の御便宜を圖り候間倍舊の御引立を蒙り度奉願上候 敬具
櫻府エル街一二二一 電話メーン一四七六ゼー 陽明館 主人 元山類四郎

農園で一番必要の物は何?

日本人一部一手販賣
ビンズ ポテート サック
アニオン トワイン
ビンズ シーツ
此際大勉強を以て販賣しますから御手紙で注文くださるか又は御立寄りを御願ひます
スタクトン市 共益會社 電話三七三

土地貸したし 櫻府リバサイド附近至極便利の場所土地七英町夫婦者の野菜栽培に適す右貸地したし希望者は左記細川旅館まで御照會あれ
308 M St., Sacramento, Cal.

開業廣告 私儀今回エム街二二二舊陽明館跡を讓り受けて吉備館と改稱し旅館を經營致す事に相成候に就ては萬事に改良を加へて各位の御便宜を計り可申候間何卒一層の御引立に預り度願上申候尚は從前の通り婦人服裁縫所をも經營仕候
櫻府エム街二二二 電話二六七セー 吉備館 伊達鐵次郎

櫻府支社 第四街千四百十四番 電話メーン三〇六六

公認 佐藤齒科醫院 櫻府第四街一三〇八 紫雲館二階 電話三五八一セー 齒科醫學士 佐藤廣吉

加州公認 名出病院 櫻府第四街一三二一 電話メーン八九七番 ドクトル・メヂシン 名出三郎 內外科、小兒科、產婦人科 住宅電話メーン二九六〇W

櫻府公認產院(いろは順)
岩井きよ 第三街一四一六 メーン三五八五J
蟹江嶋子 ヱヌ街三二四 メーン二〇二一R
山浦なつ子 第四街一四一〇 メーン三六八六W
小林ひろ子 第四街一四〇三 メーン四八三
宮崎アイ 第四街一四一八半 メーン四二一五M

日本鳥屋 第四街一三〇七 メーン三一一一W

丸三商會 切花及寫眞機 櫻府第四街一二二二 電話メーン四三七七W

石井醫院 加州公認 東京帝國大學醫學士 石井銀佐 櫻府第三街一二三七 電話メイン六三三

イーグル藥房 イーグル藥店 櫻府第三街一二一〇 電話メーン二九四七R

紀伊商店 和洋雜貨、金物類 エム街三〇〇 電話メーン七七一

サクラ藥店 櫻府エム街三二四 電話三七八一 藥劑師 吉田勝太郎

下島寫眞館 櫻府日本銀行階上 電話メーン三一一五セー

竹本ドラグ 櫻府第三街一二三三 電メーン五二四七W

紐育生命 片岡貫一 櫻府第四街一四一四半 電話二〇九〇W

谷本商店 和洋食料品卸小賣 櫻府第四街一二二五 電三六四三

杉本事務所 土地賣買通辯事務 メリスビル市二街デー街角 電話二五一 住宅東洋旅館內

麴味噌製造所 櫻府エヌ街四二七 電話二九三三セー

大和家具商會 櫻府六街一二一六 エルとエムの間 電話メーン三八六七W

吉田寫眞館 第四街一二一七A 電話四三七七セー

崎山商店 櫻府エム街三〇一番 電話メーン三九八

日本寫眞館 第三街一二〇六 電話三一三三セー

高橋通辯事務所 櫻府第四街千二百十番 電話メーン三九二一セー 住宅三〇九四

降矢時計店 櫻府エル街日本座向側 電話メーン二八五一W

岡山旅館 櫻府エム街四二六(五街の角) 電話メーン一五二〇

大北館 第四街一二一六 電話三八四五R

肥後屋 新居兄弟 櫻府エム街三〇九 電話二二八八

川村旅館 川村伊太郎 第三街一二一八 電話三〇二八

備州ホテル 山田 第三街一二一〇 電話メーン三六六J

日本館 櫻府第四街一二七半 電話メーン一一一一M

西村旅館 第四街一三二四 電話三五七W

日の本旅館 エム街三二三 メーン三〇一四

廣島旅館 櫻府日本町八 電話メーン五二四七J

鍼灸揉療治 根立院 エヌ街四百八番 內務省免許 電話メーン二九六〇J

松野醫院 齒科 櫻府日本銀行階上 電話メイン五一七〇 住宅第四街一二〇四

東西商會 吳服雜貨及食料品 櫻府第四街千二百十四番 電話二六六七W

黑河寫眞館 櫻府第三街一二一五 電話メーン一二六五W

吉村商店 和洋食料品 櫻府エム街四〇一 電話メーン一二三七

酒井藥店 櫻府第三街一二一五 電話メーン四九三一Y

武田正夫 保險 櫻府エム街三〇九 電話二一七一〇セー

廣島商店 和洋食料雜貨 櫻府エム街三〇九 電話メーン五〇三〇W

公認 吉田齒科醫院 櫻府第三街とエムの街角 電話メーン一三九九ゼー

みかど魚店 鮮魚、野菜其他罐詰類卸小賣 櫻府第三街一一一四 電話三七八六

唐津病院 加州公認 櫻府エム街二百二十八番 唐津エンゼル 電話メーン二〇一二 唐津病源研究所

保險 ウエスタン ステート 1309 4th St. Sacramento 電話メーン四〇三八M 河本源吉

朝日時計店 第四街一二一九 電話二八七三R

隆辻便利社 櫻府四街一二〇五 電話メーン三一一五W 住宅電話四六八二W

保險 櫻府エヌ街三三〇 末本

有明商會 櫻府第三街一二一八 電話メーン三六一一

いなか商店 食料品、金物類 櫻府第三街千二百十五 電話メーン三三一

櫻面都魚店 第三街一二一九 電話三五七八セイ

水製造所 スターソーダ 櫻府エム街三百十番 電話メーン三一八七

靴 櫻府角座 津田爲店

須市ホテル 室內清潔 玉臺の設備あり 東マーケット街一二四 電話七三一 水谷猛

精神療法 不治の病後天的不具其他難症根治手術服藥要せず サンノゼ市北第五街五六五 電話サンノゼ九一四 中島施術所 元日本人病院跡

村上病院 加州公認 櫻府エム街三一四番 電話メーン三六〇五ダブリュー ▲內科▲外科▲內臟外科▲婦人科▲肛門科 元帝國大學病院在勤 ドクトル 醫學士 村上利道 住宅第五街PQとのアレー五一二半 電話一九七二W

友岡旅館 河下 ウ村鄉街一〇五 コートランド二九四

須市支社

橫山洋服店 須市南エルドラド街三二一〇 電話二九八W

公認 岡本醫院 須市日本人會隣室 (電話)八五三 住宅五〇二七セー ▲外科▲內科▲婦人科▲小兒科 ドクトル・メヂシン 岡本力一

加州公認 石川醫院 須市東ワシントン街二八 電話 醫院五〇八三 住宅四九六三W ◎內外科◎產婦人科◎泌尿科 ドクトル 石川榮助

入院隨時 公認 西野療院 櫻面都市第四街千四百一番 電話四九七七アール
本院の療法は歐米に於て最大著名なる米國ミシガン州バツトルクリツキ病院の治療法に基き胃腸病專門療法、電氣療法、オステオパセー等其他十數種の化學療法により諸病を即時に治癒し得るのみならず從來不治症とせし慢性諸病を根治し得る靈効顯著なる新療法なり
胃腸病一切、神經衰弱、比例的里、腦病、不眠神經痛其他腦脊髓より起りたる諸病、慢性急性リョマチス、腎臟病、肺病、肋膜其他衰弱症一切、つかい、痛風、痳氣、肩の凝、脚氣、皮膚病、產後の血の道、婦人病一切、接骨、打撲症、筋違挫き、不具患者其他諸病

旭貸自動車 櫻府第三街千二百二十六番 臨時電話メーン三五〇六 沖村、田邊、岡本

米問屋 井上商會 各種肥料 サック 古サックもあり 櫻府エム街三百十二 電話メーン三八一壹ゼー

O.K.家具金物商店 櫻府エル街四二四 (新舊家具) 電話メーン四六七〇(ペンター賣買)

公認 ライオン藥店 專門醫紹介及通辯、診察室設備完全 櫻府第四街千二百十七番 電話メーン一五六六 店主 木家

株式會社 日本銀行 櫻府第四街とエル街角 電話メーン一〇七八

早石醫院 須市南エルドラド街四四〇 電九〇四 住宅電話二三六二 中央加州公認內外科醫 ドクトル・メヂシン 早石實藏
J. Hayaishi, M.D. 44 S. El Dorado St., Stockton, Cal.

タフトホテル 室內清潔、設備完全 スタクトン市南センター街一二四 御來市の節は是非御投宿を願ます (電話三六四〇) 麻生德三郎

江頭豆腐店 東ラフエット街二九 Tel. 4408W

公認 醫化學研究所 須市南エルドラド街三〇五 櫻府屋內 電話二二五六 喀痰、胃液、血液、糞便、病源徵生檢查、及び一般病症診斷 帝大醫學士 黑田隆良

加州公認 內田醫院 須市南エルドラド街二二八 櫻岡屋內 電話二五九四 ▲內科▲小兒科▲泌尿科▲外科▲眼料 獨逸ドクトル 醫學士 內田賢助

貸自動車 須市南センター三一〇 電話一九八八 平榮太

高橋商店 食料品雜貨商 スタクトン 電話三三九四 333 S. Center St., Stockton.

佐藤商店 食料品、雜貨類、大勉強 電話二二五五 110 W. Washington St., Stockton, Cal.

須市蓄音機店 シンガー裁縫ミシン販賣 6 W. Market St., Stockton, Calif.

日本藥店二階 工藤齒科醫院 公認齒科醫學士 工藤盛勝 公認齒科醫學士 中原久一 (電話二三二五)

公認 北原產院 須市南センター街一三七 電話一一九一W

貸自動車 須市東ラフエット街二七 (電)二四七五 清水

國井時計店 金銀寶石、時計修繕 質店 せんべい製造販賣 10 E. Washington St., Stockton, Calif.

須市旅館業組合
パナマ センター街四七 電話四六九三
日本旅館 センター街ソノラ街角 電話七二九
豊明館 南エルドラド街一二九 電話一六二一
尾張屋 西ラフエット街二〇 電話九九二
加州館 西ワシントン街一一二 電話一四四九
ヨセミテ 南マーケット街一二二 電話二二〇八
中島ホテル 南エルドラド街一三一 電話一六五五
南海屋 東ソノラ街一一二 電話二九〇二W
福岡屋 南エルドラド二二八 電話二五九四
安藝旅館 東ラフエット街二九 電話一六九八
サンオキン 東マーケット二九 電話九四四
サツマヤ 南エルドラド三〇五 電話二二五六
紀州館 南センター街三三一 電話一〇七九
錦帶旅館 南センター街三一九 電話二九四〇W
ミカドホテル 南エルドラド街一八 電話九五九
廣島屋 東ラフエット四六 電話三二五〇J
肥後屋 南エルドラド三二〇 電話一〇八二

公認 久世產婆 須市南マデソン街二二〇 電話二九〇三ダブリュー

津玉商店 和洋食料品 電話八七 323 S. Center St., Stockton, Cal.

西村產院 須市南マデソン街一一九 電話二〇三三ゼー 自動車の設備あり

島田豆腐店 須市南エルドラド街三三〇 電話四六〇〇J

木村シンガーミシン店 須市東ラフエット街四四 電三二九五W

竹本魚店 東ワシントン街二六 電話一九五六

材木屋 キャンプ用木材を格安に御需めに應じ候最も波止場に近し シムソングレー 電話スタクトン二四 Simpson-Gray Lumber Co. 124 W. Weber Ave., Stockton

花屋 加州花店(電一一四一) 729 N. Calif. St., Near Main

渡邊商店 質屋 時計寶石類 シンガーミシン 須市南エルドラド街三三四 電話一六〇五

金物・STOVE・廚具 THE RUHL-GOODELL CO. 315-319 E. Weber Ave., Stockton.

須藤文明堂 書籍雜誌 33 E. Market St., Tel. 329

安樂心 支那料理 室內清潔 ▲原料鮮良 ▲諸君歡迎 ▲宴會並出前 ▲電話一七六九

ローダイ

商店 電話ローダイ八五 P. O. B. 121

ヴァレー材木店 Valley Lumber Co. ▲各種材木大勉強 ▲日本人諸君を歡迎す 樓臺東エルム街洗濯所向側

廣島屋 御旅館御料理 電話ローダイ四四 20 N. Main St., Lodi, Calif.

宮島商會 雜貨食料品商 ローダイ市北メーン街六番 電話九三

中國商會 食料雜貨 南メーン街 郵函二四五

佐市

醫學士 落合 サンノゼ太平旅館(電三二一〇) 住宅北六街五三二(電一三二五)

眼科 內外科天野醫院 佐市北第四街六一二 電話サンノゼ一〇九九 新注射、神經痛、結核其他 院長 大阪醫科大學 醫學士 天野賞

榮喜洋服店 男女子供用洋服 帽子其他一切 サンノゼ市ジャクソン街一八七 電話サンノゼ四二七一

華村 パーラント葬儀社 自働車使用諸事懇切取扱 イーストレーキ街三五 電話 六三三ワイ Burland Undertaking Co.

石野寫眞館 晝夜共寫眞撮影 佐市ジャクソン街二三一 電三五四八ジエー

木村保險事務所 ニューヨーク生命保險會社代理 サンノゼ市北第三街五五六

不鳴千鳥（六〇）

長谷川伸

『野郎放せ放さないかよ』金切り聲を絞るのは山人足どもに押付けられて身動きも出來ぬにゐる蛇遣ひのお君です。

『誰が此の手を放してやるものかい馬鹿申すな』

『ヲイ病人、おい達がこぎやンしとる間に娘な奪ひ取りンさい』

『畜生ッ巫山戯やがつて……放さねエか、食ひつくぞ』

振り絞る聲を聞きつけて町の人は戸口近く寄つて來て、開け放たれた門口から中の様子を眺めながら狐鼠々々と語つてゐます

『お痛ッ』

山人足の一人は蛇遣ひに咬まれた腕を押へて飛びあがりました

『容赦すッ事が惡か、構はず毆りつけるが可かたい』

次に聞ゆるのは人を毆つ音と蛇遣ひの悲鳴です。

その間に癈人は廣くもない家の中を右往左往して露枝の姿を探し出さうと焦慮つてゐました、山人足と蛇遣ひの毟り合ひを顧みるの遑もなく熱心に探し廻つたのでしたが、座敷にも臺所にも露枝の姿は見えません

『逃げたのだな』

閃くやうに癈人の胸に浮んだ想像は、一も二もなく眞實られに極まつたと思はせました、癈人は縁端の戸の稍開いてゐた處から首を出して夏の夜の外を見ました、緑に彩られた外は夜風が少し吹いてゐます。

癈人は狂人の如く縁端から庭へ低く粗末な青葉の垣を押し破るやうにして外へ出ました、露枝の姿は見えませんが斯うして追ひかけるかのやうに彼は努めて足早になつてゐます家の中では蛇遣ひが必死に抵抗してゐます山人足は女を押へつける事を興味のやうにして、毟り合ひつゝ狎れ戯れるやうな振舞をしました。

『しめたッ』

蛇遣ひは恰も凱歌のやうに威丈高な態度で甲高く叫びもあへず片手に薄黒い袋を摑んでその口へ片手を差入れました。

『さあ野郎共ッ、來い』

一條の忌はしき姿の物が絡み合つた形ちで山人足の頭上へ投げられました。

『わッ、蝮ぢや』

『逃げろ』

又一條の忌はしき姿は投げつけられました。

『わッ』

さしも荒氣の山人足も踵を返して一散に逃げ出さうとします、脱兎の如くに戸口へ廻つた蛇遣ひはのたうつ二條の物を兩手に捧げて、打ち振り打ち振り、歯を剝いて叫びました。

『野郎共命は亡いのだよ、よくも手痛い目に合しやがつたな、その返報はこれがしてくれるのだよ、ザマ見ろ』

顔色を失つて座敷の一隅に尻込する山人足を睨んで立つた蛇遣ひは小氣味よげに笑つてゐます

慌しき佩劍の音、靴の音がしました、巡査が騒ぎを聞いて驅けつけたのです、それと知つて山人足は又一段と蒼い顔をしました。

小屋の方では白瀧が今土俵を濟まして流るゝ汗を拭ふて冷たい水一杯のみ干した處へ、町の子供が『喧嘩』を敎へてくれました。

『喧嘩、山猫のたぼさん、家にやた露ちやんと旅人の長物遣ひとそれだけしか殘つてゐないね』

『はあその外は鼠ぐらゐさ』

『さうだね』

ぞいと起つた白瀧は浴衣を取ると手早く引かけながら、小屋の樂屋口から外へヒラリと飛び出しました。

『白瀧關今歸つちやいけない』

といふ聲を後に最う驅け出してゐます。

沒落の悲哀

（二）＝成金哀話

増田が財産明渡しの時に大阪で目下有名な悲劇が起つてゐる、それは住吉に建てた別荘の明渡しをする時の事

▼増田の妻　女は別荘を明渡す前に家財を綺麗に取片附けた隅から隅まで掃除して庭の草までムシつた上で、座敷の眞中に坐つて香を焚きしめた、そして、柱の姸み、床の置きやう、庭の木の植方まで、皆私の好みの儘に作らした此家だが、一年經つか經たぬ中に人手に渡すのかと思ひ出すと知らず〳〵兩眼から滾れる涙が

▼膝の上へ　ぼとり〳〵と痕を殘した、其時も時、子供が、母さん、此家を開けちやつて明日からは誰れか入つて來るんですかと聞いた、其の言葉を聞いた時には流石氣丈の妻女も返事は出來ず、いつか歔欷り上げて泣いてゐたといふ、此の妻女が裏店へ引き籠つた時、或る人へ言つた言葉は全く血の出るやうな文句であつた、曰く

▼不景氣か　増田の家へ襲ひかけて來た時、私はもう心竊かに覺悟をしてゐました、良人は身の破滅の爲めにいつ自殺をせねばならぬか判らない、朝良人を送り出す時には、ア、これが良人のうしろ姿の見納めか〳〵と思ひ〳〵送り出しました、そして其の良人が夜になつて歸つて來ると、ア、今日一日の命が延びたかと胸を撫で下してゐましたとある成金沒落に對する

▼財産整理　といふものも隨分やゝこしいもので、化學藥品や染料で仕上げた小西の沒落の時小西と關係のある澤山との間に往復して、三年がゝりで整理を賴まれた竹内といふ辯護士などは整理料として七萬圓からの報酬を得てゐる、整理をされた成金は無一物になつて、整理に雇はれた辯護士の懐に七萬圓の金が殘つたなどは皮肉な滑稽と云はねばならぬ

▼借金の程　度も隨分亂暴なのがある、増田の借金なども其の親玉の方であるが、小西などは大阪にある六十三軒の銀行を、六十一軒まで借放してゐたといふので、竹内辯護士は一時呆氣に取られたさうだ（つゞく）

一口噺

影辨慶

フイラン氏『キープ・カリフオルニヤ・ホワイト』

バツピー花『俺等が白くなつたら加州の特色は無くなるぞ』

甲『トルコの大岡越前は猿を證人に引出して殺人犯を發見したと』

乙『猿智慧のある男だナ』

フイラン『今度排日問題を加州の一般投票に附する事は實に痛快至極だ』

野次『世界の一般投票に附しては如何だい』

讀者『電燈を患部に當るとリウマチスが癒るさうだ』

與太郎『併し跡がテカ〳〵に禿るだらう』

日本病院
Tel. Fillmore 2004　1811 Pine St., S. F. Cal.
外科皮膚科 産婦人科 ドクトル 黑澤格三郎
小兒科、耳鼻咽喉科 内科 千葉醫學士 春田忠藏
桑港パイン街一八一一 電話フキルモア二〇〇四

帝國病院
1629 Post St., S. F.
入院隨意
顧問 醫學博士 渡邊恭禮
主任 ドクトル 伊津野房一郎
桑港ポスト街一六二九 電話ウエスト七二六二

中央病院
内科、小兒科 眼科、皮膚科
血液、胃液尿、糞便の顯微鏡的化學的檢査に應ず
桑港ブツシユ街一九〇五（ラグナ街ブキヤナン街ノ間）（舊竹岡病院）
醫學士 渡邊悦藏
電話フキルモア一八〇九
診察時間 午前十時より午後八時迄 但し急患は此限りに非ず

北河醫院
1552 Buchanan St.（北米アパートメント）
公認 醫院開業
スタンフオード醫科大學出身 バチエラー、オブ、アート ドクトル、オブ、メヂシン
北河慶次郎
元レーン病院助醫
診察時間 平日午後一時より六時まで 日曜午前九時より十時迄
電話フキルモア五二八八

桑港公認歯科醫師
加州歯科醫師會（いろは順）
井戸本保之助　桑港ゲリー街一五二六　フイルモア七九二
林徳太郎　桑港ポスト街一七七六　フイルモア四二〇九
小川榮一　桑港ブキヤナン街一七三九　フイルモア一九一〇
田中敏太郎　桑港ポスト街一五三〇　ウエスト六八四
山本辰雄　桑港ブキヤナン街一五六八　フイルモア一二六八
谷田部保　桑港ブキヤナン街一六四五　ウエスト五二八二
藤田省三　桑港サター街一八七七　ウエスト八三五〇
木暮篤太郎　桑港ポスト街一六六〇（五東堂二階）　フキルモア一二六〇
檜垣益一　桑港ポスト街一六六二　ウエスト二四八四

観光團員募集
十一月十九日さいべりあ丸にて出發御通知次第趣意書送呈す
桑港旅館組合主催第七回
本團員に限り出國稅納附の必要なし
東洋觀光團　申込所組合旅館
井本旅館　サウスパーク一〇四　電話ドグラス三五九三
防長旅館　サウスパーク一〇三　サター八五〇一
日本ホテル　ラグナ街一五五一　ウエスト五二一五
日米ホテル　ブツシユ街二〇一八　フキルモア四四六五
北米旅館　ブキヤナン一五七〇　ウエスト三二二二
田村旅館　パシフイツク四四〇　ガーフイルド三一九六
近江屋旅館　サウスパーク一〇八　ドグラス四八九八
加州ホテル　ストクトン一〇九　ドグラス五一一三
名古屋ホテル　ポスト街一七五九　フイルモア三五五三
南海屋　ゲリー街一五三三　ウエスト六九三九
熊本屋　サウスパーク七〇　カーネー二七二九
山口屋　ヂヤクソン街七四七　カーネー二四八七
福岡屋　サウスパーク一七　カーネー二七一三
富士ホテル 玉城館　グラント街五三三　カーネー一三〇五
永本旅館　サウスパーク三　サター八六六一
安藝ホテル　ポスト街一六五一　ウエスト六二一一
紀の國屋　ブキヤナン一六二三　ウエスト五五四六
ミカドホテル　ポスト街一七三四　ウエスト一九九一
エビスホテル　ブキヤナン一六四五　フイルモア一九七一
廣島屋　ポスト街一六三二　ウエスト九四四八

桑港旅館組合船客送迎事務所
404 Pacific St., S. F.　電話ドグラス三七九四

大阪朝日 取次
37 Bedeman St. San Francisco, Cal.

英語教授
初學者、新渡航者、婦人及年少者の爲に懇切敎授す
寺澤教館
パイン街一二八一 電話フイルモア二一二〇

公認産婆 村山なみゑ
桑港ポスト街一六二四 電話フキルモア一七六一

公認 小林産院（妊婦、産婦、收容の設備あり）
帝國大學産婦人科卒業 内務省免許
産婆 小林ちか
桑港ブツシユ街一九五四 電話フイルモア三七〇七

内務省免許産婆
倉本ひな
桑港ブツシユ街一九〇七 電話フキルモア一九〇四

公認 林産院
桑港ポスト街一五二八 電話ウエスト五七六八
公認産婆林イエ

公認 川口産院 妊産婦收容の設備完全
内務省免許、加州公認産婆 川口藤子
桑港ブキヤナン街一七一四 電フキルモア四九四七

草間醫院（桑港病院内）
1808 Bush St.
公認醫院開業
スタンフオード醫科大學出身 ドクトル・オブ・メヂシン
草間良男
元レーン病院助手
診察時間 午後一時より午後五時まで 日曜午前十時より十一時まで
入院隨意
電話フキルモア一九八六

新茶 着荷
特別安賣 送料無料
御菓子
鑵入銘茶 各種
桑港ポスト街一六九九
御菓子司 松屋
電話ウエスト五三六六

公認 大久保歯科醫院
歯より來る故障は體内諸疾病に直接原因となるはX光線應用に依り醫學社會の實證なり
平日午前九時より午後五時迄
406 Sutter St. Cor. Stockton Mc Laud Bldg. Room 304 Tel. Sutter 7435

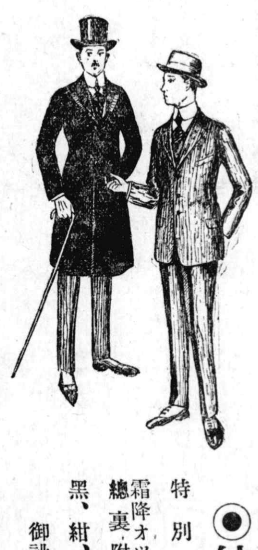
高尾鶴松
獨逸病院囑託通譯
桑港スタクトン街七五八 電話カーネー二四七六

藥局
藥品目錄無代贈呈
公認調劑 日本ドラグストア
桑港ポスト街一六九〇 電ウエスト一八六
NIPPON DRUG CO.
1690 Post St., San Francisco.

大阪藥店
郵送無料　公認調劑
滋養強壯 活力素　坪井博士發見　一ケ月一弗六十仙　神經衰弱、貧血、精力減退、腦病等補血の良藥
有効確實 つわり錠　米國製劑 三週分二弗　婦人妊娠時に苦しむツワリも本劑に依りて根治す
男女強精 強精錠　百錠入一瓶五弗 二瓶九弗 三瓶十二弗　精力を増進し神經衰弱を治す最新藥なり
赤十字印 胃腸丸　米國製劑 百錠入一弗　急性は勿論多年難治の胃腸病も本劑で全治す
最新方劑 わきが妙藥　二週分一、〇〇　慢性頑固のワキガも本劑に依りて拭ふが如く治す
藥局 多年の經驗あり日白人藥劑師によりて適藥を低廉に提供す
桑港ポスト街一五九四 電話ウエスト三四七四
OSAKA YAKUTEN 1594 Post St., S.F. Calif.

＝新米＝
▲千九百二十年産新米は品質非常に宜敷候
▲最寄食料品店にてお求め被下度候
▲弊店にては小賣を不致候

Oriental Trading Corporation
San Francisco, Calif.
―お待兼ねの―
新米＝賣出し
來る十月七日より
桑港 東洋貿易株式會社 精米部

◉御婦人用オバコート
羅紗無地色々　二十弗より五十五弗
ベルベツト又はブラシユ　四十弗より六十弗
毛皮付ブラシユ特仕立　百弗及び百十五弗以上

◉紳士用外套
特別厚地半裏　五十弗より六十弗
霜降オツクスフオード總裏附　三十八弗より六十五弗
黒、紺、茶無地　三十五弗より五十五弗
御誂は四十五弗以上八十弗位迄

男女洋服卸小賣
雜貨輸出入
ふく組
本店 桑港ポスト街一八六三 電話ウエスト三四四四
支店 同サウスパーク一四〇 同 サター三六一八
同 横濱市本町五丁目九〇番地